

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 3月17日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-075296

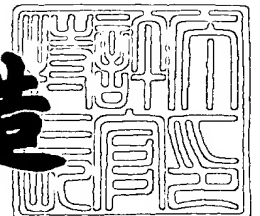
出 願 人
Applicant (s):

富士写真フイルム株式会社

2000年 9月22日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3078054

【書類名】 特許願

【整理番号】 00013

【提出日】 平成12年 3月17日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30

【発明の名称】 画像注文システムおよび方法

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水三丁目 1 1 番 4 6 号 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 太田 義則

【特許出願人】

 【識別番号】 000005201

 【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100080322

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 牛久 健司

【選任した代理人】

 【識別番号】 100104651

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 井上 正

 【連絡先】 0 3 - 3 5 9 3 - 2 4 0 1

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 006932

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9800030

【包括委任状番号】 9800031

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像注文システムおよび方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 互いにデータ通信可能なセンタ・サーバと注文者用の第 1 のクライアント・コンピュータとラボラトリ用の第 2 のクライアント・コンピュータとを含み、

上記第 1 のクライアント・コンピュータが、

印刷させるべき画像を特定するデータを入力する入力手段、ならびに

上記入力手段から入力された画像特定データおよび注文者を特定するデータを、上記センタ・サーバに送信する第 1 の送信手段を備え、

上記センタ・サーバが、

上記第 1 のクライアント・コンピュータの上記第 1 の送信手段から送信された画像特定データおよび注文者特定データを受信する第 1 の受信手段、ならびに

上記第 1 の受信手段によって受信された画像特定データおよび注文者特定データを互に関連づけて、上記第 2 のクライアント・コンピュータに送信する第 2 の送信手段を備え、

上記第 2 のクライアント・コンピュータが、

上記センタ・サーバの上記第 2 の送信手段から送信された画像特定データおよび注文者特定データを受信する第 2 の受信手段、ならびに

上記第 2 の受信手段によって受信された画像特定データによって特定された画像についての情報および上記注文者特定データによって表される注文者を報知する第 1 の報知手段、

を備えた画像注文システム。

【請求項 2】 上記第 2 のクライアント・コンピュータは複数あり、

上記センタ・サーバは、

複数の第 2 のクライアント・コンピュータのうち、どの第 2 のクライアント・コンピュータに注文者用の第 1 のクライアント・コンピュータが属するかを表す対応データを記憶しており、

上記第 1 の受信手段によって受信した注文者データによって特定される注文者が複数の上記第 2 のクライアント・コンピュータのうちどの第 2 のクライアント・コンピュータに属するかを、上記対応データにもとづいて判定する判定手段、ならびに

上記判定手段により判定された第 2 のクライアント・コンピュータに上記画像データおよび上記注文者特定データを送信するように上記第 2 の送信手段を制御する送信制御手段、

をさらに備えた請求項 1 に記載の画像注文システム。

【請求項 3】 上記センタ・サーバが、画像データを格納している画像データベースをさらに備え、

上記第 1 のクライアント・コンピュータが、上記センタ・サーバの上記画像データベースに格納されている画像データによって表される画像の縮小画像を表示装置に表示させる表示制御手段、

をさらに備えている請求項 1 に記載の画像注文システム。

【請求項 4】 上記センタ・サーバが、

上記第 1 の受信手段によって受信した画像特定データにもとづいて、画像特定データによって特定される画像の印刷料金の見積もりを算出する算出手段、および

上記算出手段によって算出された見積もりを表すデータを上記第 1 のクライアント・コンピュータに送信する第 3 の送信手段をさらに備え、

上記第 1 のクライアント・コンピュータが、

上記センタ・サーバの上記第 3 の送信手段から送信された見積もりデータを受信する第 3 の受信手段、および

上記第 3 の受信手段によって受信された見積もりデータによって表される見積もりを報知する第 2 の報知手段、

をさらに備えた請求項 1 に記載の画像注文システム。

【請求項 5】 上記センタ・サーバが、

上記画像の印刷料金を算出する算出手段、

上記算出手段によって算出された料金を表すデータを上記第 1 のクライアント

・コンピュータおよび上記第2のクライアント・コンピュータの少なくとも一方に送信する第5の送信手段をさらに備え、

上記第1のクライアント・コンピュータおよび上記第2のクライアント・コンピュータの少なくとも一方に上記センタ・サーバの上記第5の送信手段から送信された料金データを受信する第5の受信手段、ならびに

上記第5の受信手段によって受信した料金データによって表される料金を報知する第2の報知手段、

をさらに備えた請求項1に記載の画像注文システム。

【請求項6】 上記第1のクライアント・コンピュータおよび上記第2のクライアント・コンピュータのそれぞれに、

上記センタ・サーバの上記第5の送信手段から送信された料金データを受信する第6の受信手段、および

上記第6の受信手段によって受信した料金データによって表される料金を報知する第3の報知手段が備えられ、

上記センタ・サーバの上記第5の送信手段が、

上記算出手段によって算出された料金を表すデータを上記第2のクライアント・コンピュータに送信したあとに上記第1のクライアント・コンピュータに送信するものである、

請求項5に記載の画像注文システム。

【請求項7】 上記第2のクライアント・コンピュータが複数あり、

上記第5の送信手段は、上記第2のクライアント・コンピュータに属する上記注文者の料金データが送信されるものである、

請求項5または6に記載の画像注文システム。

【請求項8】 複数の代理店用のそれぞれに代理店用の第3のクライアント・コンピュータが設けられており、

上記代理店に属するラボラトリ、上記ラボラトリに属する注文者がそれぞれ定められており、

上記第5の送信手段は、対応する代理店の第3のクライアント・コンピュータ、ラボラトリの第2のクライアント・コンピュータおよび注文者の第1のクライ

アント・コンピュータに料金データをそれぞれ送信するものである、
請求項 5 に記載の画像注文システム。

【請求項 9】 上記センタ・サーバの上記第 5 の送信手段は、上記料金データを上記代理店の第 3 のクライアント・コンピュータの次にラボラトリの第 2 のクライアント・コンピュータに送信するものであり、

上記代理店の第 3 のクライアント・コンピュータが、

上記センタ・サーバの上記第 5 の送信手段から送信された料金データによって表される料金を確認する第 1 の確認手段、および

上記第 1 の確認手段によつて確認されたことにより確認データを上記センタ・サーバに送信する第 6 の送信手段をさらに備え、

上記センタ・サーバが、

上記代理店のクライアント・コンピュータから送信された確認データを受信する第 7 の受信手段をさらに備え、

上記第 5 の送信手段が、上記第 7 の受信手段により確認データを受信したことに応じて、ラボラトリの上記第 2 のクライアント・コンピュータに上記料金データを送信するものである、

請求項 8 に記載の画像注文システム。

【請求項 1 0】 上記センタ・サーバの上記第 5 の送信手段は、上記料金データを上記ラボラトリの第 2 のクライアント・コンピュータの次に上記注文者の第 1 のクライアント・コンピュータの順に送信するものであり、

上記ラボラトリの第 2 のクライアント・コンピュータが、

上記センタ・サーバの上記第 5 の送信手段から送信された料金データによって表される料金を確認する第 2 の確認手段、および

上記第 2 の確認手段によって確認されたことにより確認データを上記センタ・サーバに送信する第 7 の送信手段をさらに備え、

上記センタ・サーバが、

上記ラボラトリの第 2 のクライアント・コンピュータから送信された確認データを受信する第 8 の受信手段をさらに備え、

上記第 5 の送信手段が、上記第 8 の受信手段により確認データを受信したこと

に応じて、上記注文者の第1のクライアント・コンピュータに上記料金データを送信するものである、

請求項8に記載の画像注文システム。

【請求項11】 代理店用の第3のクライアント・コンピュータが設けられており、

上記代理店用の第3のクライアント・コンピュータが、

代理店に属するラボラトリおよびラボラトリに属する注文者のうち少なくとも一方を設定する第1の設定手段、および

上記第1の設定手段により設定された属性データを上記センタ・サーバに送信する第8の送信手段、

をさらに備えた請求項1に記載の画像注文システム。

【請求項12】 ラボラトリ用のクライアント・コンピュータが、

ラボラトリに属する注文者を設定する第2の設定手段、および

上記第2の設定手段により設定された属性データを上記センタ・サーバに送信する第9の送信手段、

をさらに備えた請求項1に記載の画像注文システム。

【請求項13】 代理店用の第3のクライアント・コンピュータおよび上記ラボラトリ用の第2のクライアント・コンピュータのうち、少なくとも一方のクライアント・コンピュータが、

複数のサービスのうち、上記注文者が利用可能なサービスを設定する第3の設定手段、および

上記第3の設定手段により設定されたサービスを表すデータを上記センタ・サーバに送信する第10の送信手段、

をさらに備えた請求項1に記載の画像注文システム。

【請求項14】 注文者用のクライアント・コンピュータから送信される、画像を特定するデータおよび注文者を特定するデータを受信する受信手段、および

上記受信手段によって受信された画像特定データおよび注文者特定データを互いに関連づけてラボラトリ用のクライアント・コンピュータに送信する送信手段

を備えたセンタ・サーバ。

【請求項 1 5】 センタ・サーバから送信された画像を特定するデータおよび注文者特定データを受信する受信手段、

上記受信手段によって受信された画像データにより表される画像を印刷するようにプリンタを制御するプリンタ制御手段、ならびに

上記受信手段によって受信された注文者特定データによって特定される注文者を報知する報知手段、

を備えたラボラトリ用クライアント・コンピュータ。

【請求項 1 6】 互いにデータ通信可能なセンタ・サーバと注文者用の第 1 のクライアント・コンピュータとラボラトリ用の第 2 のクライアント・コンピュータとを含む画像注文システムにおいて、

上記第 1 のクライアント・コンピュータにおいて、

印刷させるべき画像を特定するデータを入力し、

上記入力手段から入力された画像特定データおよび注文者を特定するデータを、上記センタ・サーバに送信し、

上記センタ・サーバにおいて、

上記第 1 のクライアント・コンピュータから送信された画像特定データおよび注文者特定データを受信し、

受信された画像特定データおよび注文者特定データを互いに関連づけて、上記第 2 のクライアント・コンピュータに送信し、

上記第 2 のクライアント・コンピュータにおいて、

上記センタ・サーバから送信された画像特定データおよび注文者特定データを受信し、

受信された画像特定データによって特定された画像についての情報および上記注文者特定データによって表される注文者を報知する、

画像注文方法。

【請求項 1 7】 注文者用の第 1 のクライアント・コンピュータから送信される、画像を特定するデータおよび注文者を特定するデータを受信し、

受信された画像特定データおよび注文者特定データを互いに関連づけてラボラ

トリ用の第2のクライアント・コンピュータに送信する、
センタ・サーバの動作制御方法。

【請求項18】 センタ・サーバから送信された画像を特定するデータおよび
注文者特定データを受信し、

受信された画像データにより表される画像を印刷するようにプリンタを制御し

受信された注文者特定データによって特定される注文者を報知する、
ラボラトリ用クライアント・コンピュータの動作制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【技術分野】

この発明は、互いにデータ通信可能なセンタ・サーバと注文者用の第1のクライアント・コンピュータとラボラトリ用の第2のクライアント・コンピュータとを含む画像注文システム、その方法、センタ・サーバ、その動作制御方法ならびにクライアント・コンピュータおよびその動作制御方法に関する。

【0002】

【発明の背景】

カタログ用の写真は、その写真のフィルムを現像所が有している。このような場合、カタログに写真を利用したいユーザ（注文者）は、写真店に写真のプリントを依頼する。写真店は、現像所に連絡し、現像所に写真をプリントさせる。プリントされた写真が現像所から写真店に配送される。ユーザは、写真店にプリントされた写真を取りに行く。

【0003】

しかしながら、このようなシステムでは写真店が近くになれば、写真のプリントの申し込みができない、写真店の営業時間内に写真店に行かなければならないなど、ユーザにとって不便なものとなっている。

【0004】

【発明の開示】

この発明は、写真（フィルム）の注文がユーザにとって便利にすることを目的

とする。

【 0 0 0 5 】

この発明による画像注文システムは、互いにデータ通信可能なセンタ・サーバと注文者用の第1のクライアント・コンピュータとラボラトリ用の第2のクライアント・コンピュータとを含んでいる。

【 0 0 0 6 】

上記第1のクライアント・コンピュータは、印刷させるべき画像を特定するデータを入力する入力手段、ならびに上記入力手段から入力された画像特定データおよび注文者を特定するデータを、上記センタ・サーバに送信する第1の送信手段を備えている。

【 0 0 0 7 】

上記センタ・サーバは、上記第1のクライアント・コンピュータの上記第1の送信手段から送信された画像特定データおよび注文者特定データを受信する第1の受信手段、ならびに上記第1の受信手段によって受信された画像特定データおよび注文者特定データを互いに関連づけて、上記第2のクライアント・コンピュータに送信する第2の送信手段を備えている。

【 0 0 0 8 】

上記第2のクライアント・コンピュータは、上記センタ・サーバの上記第2の送信手段から送信された画像特定データおよび注文者特定データを受信する第2の受信手段、ならびに上記第2の受信手段によって受信された画像特定データによって特定された画像についての情報および上記注文者特定データによって表される注文者を報知する第1の報知手段を備えている。

【 0 0 0 9 】

この発明は、上記画像注文システムに適した方法も提供している。すなわち、この方法は、互いにデータ通信可能なセンタ・サーバと注文者用の第1のクライアント・コンピュータとラボラトリ用の第2のクライアント・コンピュータとを含む画像注文システムに適用されるものである。

【 0 0 1 0 】

上記第1のクライアント・コンピュータにおいて、印刷させるべき画像を特定

するデータを入力し、上記入力手段から入力された画像特定データおよび注文者を特定するデータを、上記センタ・サーバに送信する。

【 0 0 1 1 】

上記センタ・サーバにおいて、上記第 1 のクライアント・コンピュータから送信された画像特定データおよび注文者特定データを受信し、受信された画像特定データおよび注文者特定データを互いに関連づけて、上記第 2 のクライアント・コンピュータに送信する。

【 0 0 1 2 】

上記第 2 のクライアント・コンピュータにおいて、上記センタ・サーバから送信された画像特定データおよび注文者特定データを受信し、受信された画像特定データによって特定された画像についての情報および上記注文者特定データによって表される注文者を報知する。

【 0 0 1 3 】

この発明は、上記センタ・サーバ、上記第 1 のクライアント・コンピュータおよび上記第 2 のクライアント・コンピュータをそれぞれ単独で構成してもよい。また、この発明は、上記センタ・サーバの動作制御方法および上記第 2 のクライアント・コンピュータの動作制御方法も提供している。

【 0 0 1 4 】

この発明によると、注文者である会社または個人の自宅に上記第 1 のクライアント・コンピュータが置かれ、ラボラトリに上記第 2 のクライアント・コンピュータが置かれる。上記第 1 のクライアント・コンピュータと上記第 2 のクライアント・コンピュータと上記センタ・サーバとが互いにデータ通信可能とされる。

【 0 0 1 5 】

上記第 1 のクライアント・コンピュータにおいて、印刷させるべき画像を特定するデータが入力される。入力された画像特定データおよび注文者（画像特定データを入力した者または実質的に画像特定データを入力したと見なされる者を含む）を特定するデータが上記第 1 のクライアント・コンピュータから上記センタ・サーバに送信される。

【 0 0 1 6 】

上記センタ・サーバにおいて、上記第1のクライアント・コンピュータから送信された上記画像特定データおよび上記注文者特定データが受信される。すると、受信した画像特定データおよび注文者特定データが互いに関連づけられて上記第2のクライアント・コンピュータに送信される。

【 0 0 1 7 】

上記第2のクライアント・コンピュータにおいて、上記センタ・サーバから送信された画像特定データおよび注文者特定データが受信される。受信した上記画像特定データによって表される画像についての情報（画像を識別するコード、画像そのものなど）および上記注文者特定データによって表される注文者が報知される（たとえば、プリントされる、表示装置に表示されるなど）。

【 0 0 1 8 】

ラボラトリには写真、フィルムなどのライブラリがある。上記第2のクライアント・コンピュータが置かれているラボラトリのオペレータは、報知された画像についての情報を知ることにより、どの画像について印刷注文があったかを知る。また、注文者が報知されることにより、ラボラトリのオペレータは、その注文者を知る。ライブラリから注文があった画像に対応する写真、フィルムなどが見つけ出され、印刷（複製）される。印刷によって得られたプリントが、ラボラトリから注文者に配送される。

【 0 0 1 9 】

この発明によると、画像の印刷注文を注文者が有するクライアント・コンピュータを用いてできるようになるので、ライブラリに赴く必要がない。また、ライブラリの営業時間に関係なく、画像の印刷注文ができるようになる。さらに、ユーザからの画像の印刷注文をセンタ・サーバにおいて管理することができる。したがって、注文された画像があるフィルム・ライブラリをもつラボラトリに画像特定データおよび注文者特定データを送信することができる。

【 0 0 2 0 】

上記第2のクライアント・コンピュータは、複数あってもよい。この場合、上記センタ・サーバは、複数の第2のクライアント・コンピュータのうち、どの第2のクライアント・コンピュータに注文者用のクライアント・コンピュータが属

するかを表す対応データを記憶しておく。そして、上記第1の受信手段によって受信した注文者データによって特定される注文者が複数の上記第2のクライアント・コンピュータのうちどの第2のクライアント・コンピュータに属するかを、上記対応データにもとづいて判定し、判定された第2のクライアント・コンピュータに上記画像データおよび上記注文者特定データを送信する。

【0021】

また、上記センタ・サーバは、画像データを格納している画像データベースをさらに備えてもよい。この場合、上記第1のクライアント・コンピュータが、上記センタ・サーバの上記画像データベースに格納されている画像データによって表される画像の縮小画像を表示装置に表示させる表示制御手段を備えることとなろう。たとえば、縮小画像を表すデータがセンタ・サーバから上記第1のクライアント・コンピュータに送信されよう。もっとも縮小画像でなく、画像データベースに格納されている画像データによって表される画像そのものを表示させるようにしてもよい。

【0022】

ユーザは、表示装置に表示された縮小画像を見ながら印刷させるべき画像を特定するデータを入力することができる。

【0023】

上記センタ・サーバが、上記第1の受信手段によって受信した画像特定データにもとづいて、画像特定データによって特定される画像の印刷料金の見積もりを算出する算出手段、および上記算出手段によって算出された見積もりを表すデータを上記第1のクライアント・コンピュータに送信する第3の送信手段をさらに備えてもよい。

【0024】

この場合、上記第1のクライアント・コンピュータが、上記センタ・サーバの上記第3の送信手段から送信された見積もりデータを受信する第3の受信手段、および上記第3の受信手段によって受信された見積もりデータによって表される見積もりを報知する第2の報知手段をさらに備える。

【0025】

上記第 1 のクライアント・コンピュータのユーザが画像印刷の見積もり料金を
知ることができる。見積もりを確認したあとで、画像印刷を正式に依頼すること
ができるようになる。

【 0 0 2 6 】

上記センタ・サーバに、上記画像の印刷料金を算出する算出手段、上記算出手
段によって算出された料金を表すデータを上記第 1 のクライアント・コンピュ
ータおよび上記第 2 のクライアント・コンピュータの少なくとも一方に送信する第
5 の送信手段をさらに備えてもよい。

【 0 0 2 7 】

この場合、上記第 1 のクライアント・コンピュータおよび上記第 2 のクライ
アント・コンピュータの少なくとも一方に上記センタ・サーバの上記第 5 の送信手
段から送信された料金データを受信する第 5 の受信手段、ならびに上記第 5 の受
信手段によって受信した料金データによって表される料金を報知する第 2 の報知
手段をさらに備える。

【 0 0 2 8 】

上記第 1 のクライアント・コンピュータの注文者および上記第 2 のクライ
アント・コンピュータのが置かれているラボラトリのオペレータは、印刷料金を知
ることができるようになる。

【 0 0 2 9 】

同じ画像について同じ枚数分を印刷する場合であっても、注文者によって印刷
料金を変えても良いし、一定料金としてもよい。

【 0 0 3 0 】

上記第 1 のクライアント・コンピュータおよび上記第 2 のクライアント・コン
ピュータのそれぞれに、上記センタ・サーバの上記第 5 の送信手段から送信され
た料金データを受信する第 6 の受信手段、および上記第 6 の受信手段によって受
信した料金データによつて表される料金を報知する第 3 の報知手段を備えてもよ
い。

【 0 0 3 1 】

この場合には、上記センタ・サーバの上記第 5 の送信手段は、上記算出手段に

よって算出された料金を表すデータを上記第2のクライアント・コンピュータに送信したあとに上記第1のクライアント・コンピュータに送信することが好ましい。

【 0 0 3 2 】

第2のクライアント・コンピュータのオペレータが確認した後に第1のクライアント・コンピュータに利用料金データを送信させることができるようになる。利用料金に間違いがあった場合に、第2のクライアント・コンピュータのオペレータがセンタ・サーバのオペレータに間違いがあったことを知らせることができる。間違った利用料金を第1のクライアント・コンピュータをもつ注文者に知らせてしまうことを未然に防止することができるようになる。

【 0 0 3 3 】

上記第2のクライアント・コンピュータが複数あるときには、上記第5の送信手段は、上記第2のクライアント・コンピュータに属するユーザの料金データを送信するようにしてもよい。

【 0 0 3 4 】

複数のラボラトリがあるときには、それぞれのラボラトリが固有の注文者を管理することとなる。自己のラボラトリが管理している注文者の利用料金のみを対応するラボラトリに知らせることができるようになる。

【 0 0 3 5 】

複数の代理店用のそれぞれに代理店用のクライアント・コンピュータが設けられていてもよい。この場合、上記代理店に属するラボラトリ、上記ラボラトリに属する注文者がそれぞれ定められる。さらにこの場合、上記第5の送信手段は、対応する代理店の第3のクライアント・コンピュータ、ラボラトリの第2のクライアント・コンピュータおよび注文者の第1のクライアント・コンピュータにそれぞれ利用料金データを送信するものとなる。

【 0 0 3 6 】

上記センタ・サーバの上記第5の送信手段は、上記料金データを代理店の第3のクライアント・コンピュータ、ラボラトリの第2のクライアント・コンピュータおよび注文者の第1のクライアント・コンピュータの順に送信することが好ま

しい。

【 0 0 3 7 】

この場合、上記代理店の第 3 のクライアント・コンピュータは、上記センタ・サーバの上記第 5 の送信手段から送信された料金データによって表される料金を確認する第 1 の確認手段、上記第 1 の確認手段によつて確認されたことにより確認データを上記センタ・サーバに送信する第 6 の送信手段をさらに備える。

【 0 0 3 8 】

また、上記センタ・サーバは、上記代理店の第 3 のクライアント・コンピュータから送信された確認データを受信する第 7 の受信手段をさらに備える。上記第 5 の送信手段は、上記第 7 の受信手段により確認データを受信したことに応じて、ラボラトリの第 2 のクライアント・コンピュータに上記料金データを送信する。

【 0 0 3 9 】

代理店が確認した後に、ラボラトリに利用料金を表すデータが送信されるので、利用料金が間違いがあったときに代理店のオペレータがセンタ・サーバのオペレータに知らせることができる。間違った利用料金がラボラトリに伝わってしまうことを未然に防止することができる。

【 0 0 4 0 】

上記センタ・サーバの上記第 5 の送信手段は、上記料金データを代理店の第 3 のクライアント・コンピュータ、ラボラトリの第 2 のクライアント・コンピュータおよび注文者の第 1 のクライアント・コンピュータの順に送信するものでもよい。

【 0 0 4 1 】

この場合、上記ラボラトリの第 3 のクライアント・コンピュータは、上記センタ・サーバの上記第 5 の送信手段から送信された料金データによって表される料金を確認する第 2 の確認手段、および上記第 2 の確認手段によつて確認されたことにより、確認データを上記センタ・サーバに送信する第 7 の送信手段をさらに備える。

【 0 0 4 2 】

また、上記センタ・サーバは、上記ラボラトリの第3のクライアント・コンピュータから送信された確認データを受信する第8の受信手段をさらに備える。さらに、上記第5の送信手段が、上記第8の受信手段により確認データを受信したことに応じて、注文者の第1のクライアント・コンピュータに上記料金データを送信するものとなる。

【 0 0 4 3 】

この場合も、利用料金が間違った場合には、ラボラトリのオペレータからセンタ・サーバのオペレータに知らせることができ、間違った利用料金を注文者に知らせてしまうことを未然に防止することができる。

【 0 0 4 4 】

代理店用の第3のクライアント・コンピュータが設けられているときには、その代理店用のクライアント・コンピュータに、代理店に属するラボラトリおよびラボラトリに属する注文者のうち少なくとも一方を設定する第1の設定手段、および上記第1の設定手段により設定された属性データを上記センタ・サーバに送信する第8の送信手段を備える。

【 0 0 4 5 】

代理店が管理するラボラトリおよびラボラトリが管理する注文者を、代理店のオペレータが設定できるようになる。

【 0 0 4 6 】

ラボラトリ用のクライアント・コンピュータに、ラボラトリに属する注文者を設定する第2の設定手段、および上記第2の設定手段により設定された属性データを上記センタ・サーバに送信する第9の送信手段をさらに備えてもよい。

【 0 0 4 7 】

ラボラトリが管理する注文者を、ラボラトリのオペレータが設定できるようになる。

【 0 0 4 8 】

また、代理店用の第3のクライアント・コンピュータおよび上記ラボラトリ用の第2のクライアント・コンピュータのうち、少なくとも一方のクライアント・コンピュータが、複数のサービスのうち、上記注文者が利用可能なサービスを設

定する第3の設定手段、および上記第3の設定手段により設定されたサービスを表すデータを上記センタ・サーバに送信する第10の送信手段をさらに備えてもよい。

【0049】

注文者によって利用できるサービスを限定できるようになる。

【0050】

【実施例の説明】

図1は、この発明の実施例を示すもので、フィルムの複製を注文するフィルム・オーダ・システムの概要を示している。

【0051】

フィルム・オーダ・システムは、ネットワークを介して互いにデータ通信可能なセンタ処理サーバ1、第1のクライアント・コンピュータ40、第2のクライアント・コンピュータ20および第3のクライアント・コンピュータ11を含む。センタ処理サーバ1は、管理会社に置かれる。第3のクライアント・コンピュータ11は、販売代理店に置かれる。第2のクライアント・コンピュータ20は、現像所に置かれる。第1のクライアント・コンピュータ40は、注文ユーザの自宅または会社（ここでは、旅行代理店）に置かれる。

【0052】

管理会社に置かれているセンタ処理サーバ1には、後述するように画像データベース6および管理情報データベース7が接続されている。また、現像所に置かれている第2のクライアント・コンピュータ20には、注文書プリンタ25が接続されている。また、現像所に多数のフィルムがストックされている（フィルム・ライブラリ）。

【0053】

現像所にあるフィルム・ライブラリの中にあるフィルムの複製を、旅行代理店が注文するときには、旅行代理店に置かれている第1のクライアント・コンピュータ40を用いて注文データが管理会社センタ処理サーバ1に送信される。センタ処理サーバ1において、旅行代理店の第1のクライアント・コンピュータからの注文データを受け付ける。受け付けた注文データが管理会社のセンタ処理サーバ

1 から現像所の第 2 のクライアント・コンピュータ 20 に送信される。

【 0 0 5 4 】

第 2 のクライアント・コンピュータ 20 において、注文データが受信されると、その注文データによって示される注文書 31 が注文書プリンタ 25 から出力される。現像所の所員は、出力された注文書を見て旅行代理店からの注文内容を知る。注文書にしたがって、フィルム・ライブラリ 32 から複製すべきフィルムが見つけられる。見つけられたフィルムが現像機 33 を用いて複製される（複製されたフィルム 34）。複製されたフィルム 34 と注文書プリンタ 25 から出力された注文書とが封筒 35 に同封されて旅行代理店 40 に配送されることとなる。

【 0 0 5 5 】

この実施例においては、管理会社に 1 または複数の販売代理店が属し（図 1 においては販売代理店は 1 つのみが図示されている）、1 または複数の販売代理店に 1 または複数の現像所が属し、1 または複数の現像所に 1 または複数のユーザ（旅行代理店）が属している。

【 0 0 5 6 】

後述するように、販売代理店の第 3 のクライアント・コンピュータ 11 によって、自己の販売代理店に属する現像所およびユーザが使用可能なサービスを設定することができる。また、現像所の第 2 のクライアント・コンピュータ 20 によって、自己の現像所に属するユーザのサービスを設定することができる。

【 0 0 5 7 】

図 2 は、センタ処理サーバ 1 の電氣的構成を示すブロック図である。

【 0 0 5 8 】

センタ処理サーバ 1 の全体の動作は、CPU 9 によって統括される。

【 0 0 5 9 】

センタ処理サーバにはモニタ表示装置 2、ネットワークを介して送信されてくるデータを受信し、かつデータを送信するためのデータ送受信回路 3、データを解析するためのデータ解析回路 4 およびデータ入力のためのキーボード 5 が含まれている。また、上述したようにセンタ処理サーバ 1 には、フィルム・ライブラリ 32 にあるフィルムに光学的に固定されている画像およびそのサムネイル画像を

表す画像データおよびサムネイル画像データを格納する画像データベース6ならびに管理情報データベース7が接続されている。管理情報データベース7に格納されているデータについて詳しくは後述する。

【 0 0 6 0 】

センタ処理サーバ1には、さらに、画像データベース6および管理情報データベース7に格納されているデータを検索するためのデータ検索回路8およびデータを一時的に記憶するためのメモリ10が含まれている。

【 0 0 6 1 】

図3は、現像所に置かれている第2のクライアント・コンピュータ20の電氣的構成を示すブロック図である。

【 0 0 6 2 】

第2のクライアント・コンピュータ20の全体の動作は、CPU29によって統括される。

【 0 0 6 3 】

第2のクライアント・コンピュータ20には、所定のデータを記憶するためのハードディスク21、このハードディスク21にアクセスするためのHD（ハードディスク）ドライブ22が含まれている。また、ネットワークを介して送信されてくるデータを受信し、かつデータを送信するためのデータ送受信回路23、注文内容を表示するためのモニタ表示装置24が含まれている。さらに、上述したように第2のクライアント・コンピュータ20には、注文書プリンタ25が接続されており、この注文書プリンタ25を制御するためのプリンタ制御回路26が含まれている。

【 0 0 6 4 】

さらに、第2のクライアント・コンピュータ20には、データ入力のためのキーボード27、与えられるデータの内容を解析するためのデータ解析回路28およびデータを一時的に記憶するためのメモリ30が含まれている。

【 0 0 6 5 】

販売代理店に置かれている第3のクライアント・コンピュータ11および旅行代理店に置かれている第1のクライアント・コンピュータ40も上述した第2のクライアント・コンピュータ20とほぼ同様の構成をしている。もっとも、第1のクラ

クライアント・コンピュータ40および第3のクライアント・コンピュータ11には、注文書プリンタ25が接続されていないのはいうまでもない。

【0066】

さらに、上述したセンタ処理サーバ1および第2のクライアント・コンピュータ20の各回路はハードウェアによって構成されるように表現されているが、ソフトウェアによって構成できるのはいうまでもない。

【0067】

図4から図13は、上述したようにセンタ処理サーバ1に接続されている管理情報データベースに格納されているデータベースの内容を示している。

【0068】

管理情報データベースには、ユーザ名テーブル（図5参照）、会社—ユーザ関連情報テーブル（図6参照）、会社名テーブル（図7参照）、会社マスタスレーブ情報テーブル（図8参照）、システム・サービス設定テーブル（図9参照）、印刷サービス設定テーブル（図10参照）、注文テーブル（図11参照）、商品テーブル（図12参照）およびお届け先指定テーブル（図12参照）が含まれている。

【0069】

会社名テーブル、会社—ユーザ関連情報テーブル、印刷サービス設定テーブル、システム・サービス設定テーブルおよび会社マスタスレーブ情報テーブルは、後述するように会社IDによって互いにリンクされている。また、ユーザ名テーブル、注文テーブルおよび会社—ユーザ関連情報テーブルは、後述するようにユーザIDによって互いにリンクされている。注文テーブルと印刷サービス設定テーブルとは後述するようにサービスIDによって互いにリンクされている。注文テーブルと商品テーブルとは後述するように商品番号によって互いにリンクされている。注文テーブルとお届け先指定テーブルとは後述するようにお届け先サービスIDによって互いにリンクされている。

【0070】

図5は、ユーザ名テーブルの内容を示している。

【0071】

ユーザ名テーブルは、個人ユーザについての情報を格納するものである。

【0072】

ユーザ名テーブルには、ユーザを識別するためのユーザID、ユーザ名、ユーザがセンタ管理サーバ1にアクセスするためのパスワード、EMAILアドレス、電話番号（TEL）、ファクシミリ番号（FAX）、氏名（ユーザ名と同じであるため省略してもよい）、ユーザが属している会社の事業所、所属、役職、郵便番号および住所を表す各データが格納されている。

【0073】

図6は、会社－ユーザ関連情報テーブルの内容を示している。

【0074】

会社－ユーザ関連情報テーブルは、個人ユーザとその個人ユーザが属する会社とを関連づけるためのテーブルである。会社を識別するためのIDとその会社に属する個人ユーザのIDとが対応づけられている。

【0075】

図7は、会社名テーブルの内容を示している。

【0076】

会社名テーブルは、会社についての情報を格納するものである。この会社は、販売代理店、現像所およびユーザとしての旅行代理店のすべてを含む。

【0077】

会社名テーブルには、会社ID、会社名、会社の所在地の郵便番号、会社の住所所在地）、会社の代表者、会社ごとの月度締日、会社の電話番号（TEL）および会社のファクシミリ番号（FAX）が含まれている。

【0078】

図8は、会社マスタスレーブ関連情報テーブルの内容を示している。

【0079】

会社マスタスレーブ関連情報テーブルは、上述したように販売代理店に属する現像所および現像所に属する旅行代理店のように販売代理店と現像所との関係および現像所と旅行代理店との関係を示すものである。販売代理店と現像所との関係における販売代理店を現像所に対するマスタ会社、現像所を販売代理店のスレーブ会社という。同様に、現像所と旅行代理店との関係における現像所を旅行

代理店のマスタ会社、旅行代理店を現像所のスレーブ会社という。

【 0 0 8 0 】

図 9 は、システム・サービス設定テーブルの内容を示している。

【 0 0 8 1 】

システム・サービス設定テーブルは、プリント・オーダー・システムを利用する場合の会社ごとの設定内容を示すものである。

【 0 0 8 2 】

システム・サービス設定テーブルには、会社 I D、利用可能な最大なデータ量を示す利用最大 K B y t e、センタ・サーバ 1 を利用するときの基本料金、データの単価を K B y t e ごとに表した K B y t e 単価およびユーザの保守料金の単価が含まれている。

【 0 0 8 3 】

図 10 は、印刷サービス設定テーブルの内容を示している。

【 0 0 8 4 】

印刷サービス設定テーブルは、ユーザが利用可能な印刷サービスの内容を示している。

【 0 0 8 5 】

印刷サービス設定テーブルには、会社 I D、サービスの内容を識別するためのサービス I D、サービス名、基本料金、通常単価、緊急納期単価（通常単価よりも緊急納期単価の方が高くなる）および後述するお届け先サービスの有無が含まれている。

【 0 0 8 6 】

図 11 は、注文テーブルの内容を示している。

【 0 0 8 7 】

注文テーブルは、ユーザから受け付けた注文内容を示している。

【 0 0 8 8 】

注文テーブルには、注文したユーザの I D（注文 I D）、サービス I D、商品番号（フィルムを特定する番号）、注文数量、緊急納期サービスの有無、発注日、納品予定日、支払い区分（月度一括、宅配着払いかなど）、現像所において注

文書を発行済みかどうかおよびお届け先 I D（お届け先のユーザを示す I D）が含まれている。

【 0 0 8 9 】

図12は、商品テーブルの内容を示している。

【 0 0 9 0 】

商品テーブルは、現像所のフィルム・ライブラリ32に保存されているフィルムの内容を示している。

【 0 0 9 1 】

商品テーブルには、商品番号（フィルムを特定する）、商品名、商品説明、サムネイル・ファイル U R L（uniform resource locator）（画像データベース 6 に格納されているサムネイル画像データが格納されている U R L 名）、画像ファイル名（画像データベース 6 に格納されている画像データが格納されている U R L 名）および商品番号の画像を画像データベース 6 から見つけ出すための検索キーワード（図12においては、検索キーワード 1 から 5 が示されている）が含まれている。

【 0 0 9 2 】

図13は、お届け先指定テーブルの内容を示している。

【 0 0 9 3 】

お届け先指定テーブルは、複製されたフィルムの届け先についての情報を格納するものである。

【 0 0 9 4 】

お届け先指定テーブルには、お届け先指定 I D、お届け先の氏名、お届け先の会社名、所属、役職、届け先の住所の郵便番号、届け先住所、届け先の氏名についての E M A I L、届け先の電話番号（T E L）および届け先のファクシミリ番号（F A X）が含まれている。

【 0 0 9 5 】

図14は、サービス設定（印刷サービス設定およびシステム・サービス設定を含む）の処理手順を示すフローチャートである。図15から図17は、販売代理店の第 3 のクライアント・コンピュータ11の表示装置の表示画面に表示されるウインド

ウの一例である。

【 0 0 9 6 】

販売代理店に置かれている第 3 のクライアント・コンピュータ 11 を用いて、販売代理店に属する会社（スレーブ会社）のサービスを設定することができる。

【 0 0 9 7 】

まず、販売代理店に置かれている第 3 のクライアント・コンピュータ 11 によってネットワークを介してセンタ処理サーバ 1 にアクセスされる。第 1 のクライアント・コンピュータ 11 とセンタ処理サーバ 1 との接続が確立すると、第 1 のクライアント・コンピュータ 11 からセンタ処理サーバ 1 にサービス設定依頼を示すデータが送信される（ステップ 51）。

【 0 0 9 8 】

センタ処理サーバ 1 において、サービス設定依頼を示すデータが受信されると（ステップ 61）、ログイン指令データがサービス依頼を行った第 3 のクライアント・コンピュータ 11 に送信される（ステップ 62）。

【 0 0 9 9 】

第 3 のクライアント・コンピュータ 11 においてログイン指令データが受信されると、第 3 のクライアント・コンピュータ 11 の表示装置の表示画面には、図 15 に示すようなログイン・ウインドウ W 1 が表示される。ログイン・ウインドウ W 1 には、次に示す各領域が含まれている。

【 0 1 0 0 】

ユーザ名表示領域 A 1 :

第 3 のクライアント・コンピュータ 11 から入力されたユーザ名を表示する領域である。

【 0 1 0 1 】

パスワード領域 A 2 :

ユーザ名に対応したパスワードが入力されるごとにアスタリスクが表示される領域である。

【 0 1 0 2 】

OK 領域 A 3 :

入力されたユーザ名およびパスワードが合っているときにユーザによってクリックされる領域である。

【0103】

リセット領域A4：

入力したユーザ名およびパスワードをリセットするときにユーザによってクリックされる領域である。

【0104】

第3のクライアント・コンピュータ11が置かれている販売代理店の店員によってユーザ名（注文者名）およびパスワードが入力されると、その入力されたユーザ名およびパスワードを表すデータが第3のクライアント・コンピュータ11からセンタ処理サーバ1に送信される（ログイン）（ステップ52）。

【0105】

センタ処理サーバ1において、第3のクライアント・コンピュータ11から送信されたユーザ名およびパスワードを表すデータがデータ送受信回路3によって受信される。受信したデータからユーザ名およびパスワードがデータ解析回路4において解析される。管理情報データベース7に含まれているユーザ名テーブルが参照され、解析の結果得られたユーザ名およびパスワードがユーザ名テーブルに格納されているユーザ名およびパスワードと一致するかどうかチェックされる（認証）（ステップ63）。

【0106】

たとえば、ユーザ名が「藩場英介」であれば、ユーザ名テーブル（図5参照）から分かるようにそのパスワードは、「e i & h a n & 3 4 5」なので、そのパスワードが合っているかどうかチェックされる。

【0107】

認証の結果、ユーザ名およびパスワードが間違っていれば（ステップ63でNO）、所定のエラー処理が行われる。ユーザ名およびパスワードが合っていれば（ステップ63でYES）、そのアクセスしている第3のクライアント・コンピュータ11が置かれている販売代理店のスレーブ会社が管理決済情報データベース7において検索される（ステップ64）。

【0108】

たとえば、ユーザ名が「藩場英介」であれば、図6に示すユーザ名テーブルからそのユーザIDは、「1」であることが分かる。図6に示す会社-ユーザ関連情報テーブルを参照して、ユーザID「1」に対応する会社IDが「1」であることが分かる。図7に示す会社名テーブルを参照して、会社ID「1」の会社名は、「A株式会社」であることがわかる。また、図8に示す会社マスタスレーブ情報テーブルを参照して会社ID「1」がマスタ会社である場合の（マスタ会社ID「1」）、スレーブ会社の会社IDが「3」、「4」および「5」であることが分かる。スレーブ会社ID「3」、「4」および「5」を会社IDにもつ会社は、図7に示す会社名テーブルを参照して「B株式会社」、「X株式会社」および「Z株式会社」であることが分かる。

【0109】

検索の結果見つかったスレーブ会社を示すデータがセンタ処理サーバ1から販売代理店（A株式会社）の第3のクライアント・コンピュータ11に送信される（ステップ65）。

【0110】

第3のクライアント・コンピュータ11において、センタ処理サーバ1から送信されたスレーブ会社を示すデータが受信される。第3のクライアント・コンピュータ11の表示装置にスレーブ会社表示ウインドウW2が表示される（ステップ53）。

【0111】

図16は、スレーブ会社表示ウインドウW2の一例である。

【0112】

スレーブ会社表示ウインドウW2には、現在センタ処理サーバ1に登録されている販売代理店のスレーブ会社が表示されている。スレーブ会社表示ウインドウW2には次の各領域が含まれている。

【0113】

スレーブ会社表示領域A5：

センタ処理サーバ1の検索により見つかったスレーブ会社を、スレーブ会社ご

とに表示する領域である。この領域 A 5 がクリックされることにより、このクリックされた領域によって指定されるスレーブ会社のサービス設定内容などを表示する新たなウインドウ W 3 が表示される。

【 0 1 1 4 】

削除領域 A 6 :

スレーブ会社表示領域 A 5 に対応して設けられている。削除領域 A 6 がクリックされることにより、対応するスレーブ会社が削除される。具体的には、センタ処理サーバ 1 の管理情報データベースに含まれている会社マスタスレーブ情報テーブルから対応するスレーブ会社 I D が消去される。

【 0 1 1 5 】

ログオフ領域 A 7 :

ログオフするときに第 3 のクライアント・コンピュータ 11 のユーザによってクリックされる領域である。

【 0 1 1 6 】

追加領域 A 8 :

スレーブ会社を追加するときにユーザによってクリックされる領域である。

【 0 1 1 7 】

スレーブ会社表示領域 A 5 のうち、サービスを設定する会社がクリックされる。すると、そのクリックされた会社に対応するサービス・ウインドウ W 3 が第 3 のクライアント・コンピュータ 11 の表示装置に表示される。

【 0 1 1 8 】

図 17 は、サービス・ウインドウ W 3 の一例である。

【 0 1 1 9 】

サービス・ウインドウ W 3 には、次の領域が含まれている。

【 0 1 2 0 】

会社プロフィール表示領域 A 10 :

選択された会社のプロフィール（会社名、郵便番号、住所、代表者、月度締め切り日、電話番号およびファクシミリ番号）が表示される。会社名テーブルから会社名のプロフィールが分かる。

【 0 1 2 1 】

システム・サービス表示領域 A11 :

選択された会社についてのシステム・サービスの内容を表示する領域である。システム・サービス設定テーブルからシステム・サービスの設定内容が分かる。たとえば、B 株式会社の場合には、会社 I D が「3」なので、システム・サービス設定テーブルの会社 I D 「3」の内容（利用可能最大 K B y t e 数など）が表示されることとなる。

【 0 1 2 2 】

ユーザ追加領域 A12 :

選択された会社についてのユーザを追加するときにクリックされる領域である。

【 0 1 2 3 】

ユーザ名表示領域 A13 :

選択された会社について登録されているユーザのユーザ名を表示する領域である。会社名テーブル、会社－ユーザ関連情報およびユーザ名テーブルから分かる。会社名が「B 株式会社（B 社）」であれば、その会社 I D は、「3」であり、会社－ユーザ関連情報テーブルを参照して、会社 I D 「3」に対応するユーザ I D は、「3」および「4」であることが分かる。ユーザ名テーブルを参照してユーザ I D 「3」はユーザ名「藩場英介」、ユーザ I D 「4」はユーザ名「鯨井塩吉」であることが分かる。これらのユーザ名が領域 A13 に表示されることとなる。

【 0 1 2 4 】

パスワード表示領域 A14 :

登録されているユーザのパスワードを表示する領域である。

【 0 1 2 5 】

変更領域 A15 :

すでに登録されているユーザの内容（ユーザ名、パスワード）を変更するときにクリックされる領域である。

【 0 1 2 6 】

削除領域 A16 :

すでに登録されているユーザを削除するときにクリックされる領域である。

【 0 1 2 7 】

OK 領域 A17 :

入力されたデータで良ければクリックされる領域である。

【 0 1 2 8 】

戻る領域 A18 :

1 つ前のウインドウ W 2 (図 16 参照) を表示させるときにクリックされる領域である。

【 0 1 2 9 】

すでに登録されている会社についてデータの変更を行うときには、変更しようとする会社に対応する領域 A 5 がクリックされ、ウインドウ W 3 が表示させられる。ウインドウ W 3 を用いてデータが変更させられる。

【 0 1 3 0 】

また、新たな会社をスレーブ会社として登録する場合には図 16 に示すウインドウ W 2 の追加領域 A 8 がクリックされる。すると、図 17 に示すウインドウ W 3 において各データが入力されていない状態のウインドウが表示される。もちろん、ユーザは登録されていないのであるから、領域 A 13, A 14, A 15 および A 16 は表示されないのはいうまでもない。

【 0 1 3 1 】

図 14 にもどって、サービスの設定 (追加、変更を含む) が終了すると (ステップ 54) 、設定されたサービスの内容を示すデータが第 3 のクライアント・コンピュータ 11 からセンタ処理サーバ 11 に送信される (ステップ 55) 。

【 0 1 3 2 】

センタ処理サーバ 11 において、第 3 のクライアント・コンピュータ 11 から送信されたサービスの内容を示すデータが受信される (ステップ 66) 。すると、受信されたサービスを示すデータにしたがって管理情報データベース 7 の各テーブルが再構築される (ステップ 67) 。

【 0 1 3 3 】

上述した実施例においては、販売代理店に置かれている第3のクライアント・コンピュータ11を用いて、販売代理店のスレーブ会社のサービス設定を行う場合について説明したが、販売代理店のスレーブ会社である現像所に置かれている第2のクライアント・コンピュータ20を用いて現像所のスレーブ会社のサービスを設定することもできる。

【0134】

図18から図21は、第2のクライアント・コンピュータ20の表示装置24の表示画面に表示されるウィンドウの一例を示している。これらウィンドウにおいて図15から図17に示すウィンドウに対応するウィンドウには同一符号を付し、また、図15から図17に示すウィンドウに含まれる領域と同じ領域については同じ符号を付す。

【0135】

上述したのと同様に、現像所の第2のクライアント・コンピュータ20によってセンタ処理サーバ11にアクセスされる。すると、第2のクライアント・コンピュータ20の表示装置24の表示画面には図15に示すようなログイン・ウィンドウW1が表示される。現像所の所員によってユーザ名およびパスワードが入力され、ユーザ名およびパスワードを表すデータがセンタ処理サーバ11に送信される。センタ処理サーバ11において、認証されると図19に示すようなスレーブ会社表示ウィンドウW2が表示装置24の表示画面に表示される。

【0136】

現像所の所員が「魚住魚吉」であれば、その所員は、ユーザ名テーブルおよび会社－ユーザ関連情報テーブルおよび会社名テーブルを参照して「B株式会社」であることが分かる。会社マスタースレーブ情報テーブルを参照して、「B株式会社」のスレーブ会社は会社ID「6」、「7」および「8」、すなわち、「亀山ツーリスト株式会社」、「白金旅行株式会社」および「ジャパン・トラベル株式会社」であることが分かる。したがって、図9に示すようにスレーブ・ウィンドウの領域A5には、「亀山ツーリスト株式会社」、「白金旅行株式会社」および「ジャパン・トラベル株式会社」が表示されることとなる。

【0137】

たとえば、領域 A 5 のうち、「亀山ツーリスト」の領域がクリックされると、亀山ツーリストのサービス・ウインドウ W 4 が、第 2 のクライアント・コンピュータ 20 の表示装置 24 に表示される。

【 0 1 3 8 】

会社 I D 「 6 」 をもつ「亀山ツーリスト」については、図 10 に示すように印刷サービス設定テーブルにおいて印刷サービスが設定されている。このために、図 17 に示すサービス・ウインドウ W 3 と異なり、設定サービス追加領域 A 10 a、印刷サービス設定領域 A 20 およびお届けサービス指定領域 A 21 が含まれている。

【 0 1 3 9 】

印刷サービス設定領域 A 20 に、設定されている印刷サービスの内容が表示される。サービス設定領域 A 20 には、サービスに対応して変更領域 A 19 が含まれている。設定されているサービスを変更するときに対応する変更領域 A 19 がクリックされる。その後、変更すべき基本料金、通常単価または緊急納期単価がクリックされ、変更後の料金等がキーボードから入力される。変更されたサービス内容を示すデータが第 2 のクライアント・コンピュータ 20 からセンタ処理サーバ 1 に送信され、管理情報データベース 7 の印刷サービス設定テーブルが再構築されるのはいうまでもない。

【 0 1 4 0 】

お届けサービス指定領域 A 21 には、「あり」および「なし」の文字が含まれている。お届け先を指定するときに「あり」がチェックされる。お届け先を指定していないときには「なし」がチェックされる。お届け先の有無に応じて印刷サービス設定テーブルのお届け先サービスの項目が変更される。

【 0 1 4 1 】

設定サービス追加領域 A 10 a がクリックされると、第 2 のクライアント・コンピュータ 20 の表示装置 24 には、図 21 に示すサービスの追加ウインドウ W 5 が表示される。

【 0 1 4 2 】

サービスの追加ウインドウ W 5 には、印刷サービス設定テーブルの各項目に応じた表示領域が含まれている。具体的には次の領域が含まれている。

【 0 1 4 3 】

サービス名表示領域 A22 :

入力されたサービス名を表示する領域である。

【 0 1 4 4 】

基本料金表示領域 A23 :

サービスを利用するときの基本料金を表示する領域であり、入力された料金が表示される。

【 0 1 4 5 】

通常単価表示領域 A24 :

入力された通常単価を表示する領域である。

【 0 1 4 6 】

緊急納期単価表示領域 A25 :

入力された緊急納期単価を表示する領域である。緊急納期単価とは、緊急にフィルムのコピーを行う場合の単価である。

【 0 1 4 7 】

追加領域 A26 :

入力されたサービスの内容を追加するときにクリックされる領域である。

【 0 1 4 8 】

キャンセル領域 A27 :

入力されたサービスの内容をキャンセルするときにクリックされる領域である。

【 0 1 4 9 】

追加されたサービス等を示すデータが第2のクライアント・コンピュータ20からセンタ処理サーバ1に送信される。センタ処理サーバ1において管理情報データベースに格納されている印刷サービス設定テーブルが再構築される。

【 0 1 5 0 】

このように、現像所に置かれている第2のクライアント・コンピュータ20を用いて現像所のスレーブ会社についてサービスの設定を変更する、新たに加えることができるようになる。また、販売代理店に置かれている第3のクライアント・

コンピュータ11を用いて販売代理店のスレーブ会社についてサービスの設定を変更する、新たに加えることができるようになる。スレーブ会社に応じてサービスの設定（料金、利用可能なサービスの有無など）を変えることができる。

【 0 1 5 1 】

図22は、旅行代理店に置かれている第1のクライアント・コンピュータ40を用いてフィルム・オーダを行う場合の処理手順を示すフローチャートである。図23から図27は、第1のクライアント・コンピュータ40の表示装置に表示されるウィンドウの一例である。

【 0 1 5 2 】

第1のクライアント・コンピュータ40がセンタ処理サーバ1にアクセスされる。すると、第1のクライアント・コンピュータ40の表示装置には図23に示すようなフィルム・オーダ・ウィンドウW6が表示される。

【 0 1 5 3 】

フィルム・オーダ・ウィンドウW6には、入力されたユーザ名を表示するユーザ名表示領域A31、パスワードが入力されるに応じてアスタリスクが表示されるパスワード領域A32、OK領域A33およびリセット領域A34が含まれている。

【 0 1 5 4 】

OK領域A33がクリックされると、入力されたユーザ名およびパスワードを表すデータが第1のクライアント・コンピュータ40からセンタ処理サーバ1に送信される（ログイン）（ステップ71）。センタ処理サーバ1において、第1のクライアント・コンピュータ40から送信されたユーザ名およびパスワードにもとづいて認証処理が行われる（ステップ91）。認証OKであれば（ステップ91でYES）、検索ウィンドウ・データがセンタ処理サーバ1から第1のクライアント・コンピュータ40に送信される（ステップ92）。

【 0 1 5 5 】

第1のクライアント・コンピュータ40において検索ウィンドウ・データが受信されると、第1のクライアント・コンピュータ40の表示装置に図24に示すような検索ウィンドウW7が表示される（ステップ72）。検索ウィンドウW7は、フィルムの複製を依頼する画像を検索するキーワードを入力するものである。検索ウ

インドウW7には、入力されたキーワードが表示されるキーワード表示領域A35、OK領域A36およびリセット領域A37が含まれている。

【0156】

第1のクライアント・コンピュータ40のユーザは複製したいフィルムに光学的に固定されている画像に対応するようなキーワードを入力する（ステップ73）。入力されたキーワードは、領域A35に表示される。OK領域A36がクリックされると、入力されたキーワードを表すデータが第1のクライアント・コンピュータ40からセンタ処理サーバ1に送信される（ステップ74）。

【0157】

センタ処理サーバ1において、キーワードを表すデータが受信される（ステップ93）。受信したキーワードを表すデータが解析され、キーワードが得られる。得られたキーワードと同じキーワードをもつ商品番号、サムネイル画像ファイルURL等が管理情報データベースの中の商品テーブルから見つけられる（ステップ94）。見つけられたサムネイル画像ファイルURLにアクセスされ、画像データベース6からサムネイル画像データが読み出される。読み出されたサムネイル画像、商品番号等を表すデータがセンタ処理サーバ1から第1のクライアント・コンピュータ40に送信される（ステップ95）。

【0158】

サムネイル画像、商品番号等を表すデータが第1のクライアント・コンピュータ40において受信されると、第1のクライアント・コンピュータ40の表示装置には図25に示すような画像選択ウインドウW8が表示される（ステップ75）。

【0159】

画像選択ウインドウW8には次の各領域が含まれている。

【0160】

商品情報表示領域A40：

検索の結果商品テーブルから得られた商品番号、商品名および商品説明の商品情報を表示する領域である。

【0161】

チェック領域A41：

フィルムのコピーを注文する画像を指定するときにユーザによつてチェックされる領域である。

【 0 1 6 2 】

サムネイル画像表示領域 A42 :

サムネイル画像データによつて表されるサムネイル画像が表示される領域である。

【 0 1 6 3 】

サービス表示領域 A43 :

選択されたサービスを表示する領域である。

【 0 1 6 4 】

枚数表示領域 A44 :

複製の枚数を表示する領域である。

【 0 1 6 5 】

納期表示領域 A45 :

選択された納期を表示する領域である。

【 0 1 6 6 】

サービス・プルダウン領域 A46 :

サービスを選択するためにプルダウンされる領域である。領域 A44 がプルダウンされることにより、選択可能なサービスが表示される。ユーザは、表示されたサービスの中から所望のサービスを選択することとなる。

【 0 1 6 7 】

納期プルダウン領域 A47 :

納期を選択するためにプルダウンされる領域である。領域 A47 がプルダウンされることにより、選択可能な納期が表示される。ユーザは、表示されたサービスの中から所望の納期を選択することとなる。

【 0 1 6 8 】

見積もり領域 A48 :

注文の見積もりを発注するときにユーザによつてクリックされる領域である。

【 0 1 6 9 】

戻る領域 A 49 :

一つ前のウインドウ W 7 に戻るときにユーザによってクリックされる領域である。

【 0 1 7 0 】

データ・ダウンロード領域 A 50 :

選択された画像を表す画像データをセンタ処理サーバ 1 からダウンロードするときにユーザによってクリックされる領域である。

【 0 1 7 1 】

チェック・ボックス A 41 がクリックされることにより、ウインドウ W 8 に表示されている画像の中から画像が選択される（ステップ 76）。見積もりが必要であれば、見積もり領域 A 48 がクリックされる（ステップ 77 で Y E S）。選択された画像を特定するデータ、選択されたサービスを示すデータ、枚数を示すデータ、納期を示すデータおよび見積もり指令を示すデータが第 1 のクライアント・コンピュータ 40 からセンタ処理サーバ 1 に送信される。

【 0 1 7 2 】

センタ処理サーバ 1 において、選択された画像を特定するデータ等が受信され、印刷サービス設定テーブルを参照して見積もり料金が算出される（ステップ 96）。算出された見積もり料金を示すデータがセンタ処理サーバ 1 から第 1 のクライアント・コンピュータ 40 に送信される（ステップ 97）。

【 0 1 7 3 】

第 3 のクライアント・コンピュータ 40 において見積もりデータが受信されると表示装置には図 26 に示すような見積もりウインドウ W 9 が表示される（ステップ 78）。見積もりウインドウ W 9 には、上述した商品情報表示領域 A 50 の他に次の各領域が含まれている。

【 0 1 7 4 】

サムネイル画像表示領域 A 51 :

選択された画像のサムネイル画像を表示する領域である。

【 0 1 7 5 】

お届け先指定領域 A 52 :

お届け先を指定するときにユーザによってクリックされる領域である。クリックされることにより後述するウインドウW10が表示される。

【 0 1 7 6 】

見積もり金額表示領域 A 53 :

見積もり金額を表示する領域である。

【 0 1 7 7 】

印刷領域 A 54 :

ウインドウ W 9 の内容を表示するときにクリックされる領域である。

【 0 1 7 8 】

発注領域 A 55 :

注文を行うときにクリックされる領域である。

【 0 1 7 9 】

戻る領域 A 56 :

一つ前のウインドウに戻るときにクリックされる領域である。

【 0 1 8 0 】

お届け先指定領域 A 52 がクリックされると（ステップ 79 で Y E S ）、図 27 に示すようなお届け先入力ウインドウ W 10 が第 1 のクライアント・コンピュータ 40 の表示装置に表示される。お届け先入力ウインドウ W 10 には、次の各領域が含まれている。

【 0 1 8 1 】

お届け先会社情報表示領域 A 57 :

複製されたフィルムを届ける相手の氏名、会社名、所属および役職を表示する領域である。これらの情報が入力されることに応じて領域 A 57 に表示されることとなる。

【 0 1 8 2 】

お届け先住所情報表示領域 A 58 :

お届け先の住所、電話番号、ファクシミリ番号および E M A I L を表示する領域である。これらの情報が入力されることに応じて領域 A 58 に表示されることとなる。

【 0 1 8 3 】

支払い方法表示領域 A59 :

支払い支払い方法を表示する領域である。プルダウンによって支払方法が複数表示され、その中から支払い方法を選択する。

【 0 1 8 4 】

OK領域 A60 a :

入力された情報で良ければクリックされる領域である。

【 0 1 8 5 】

キャンセル領域 A60 :

入力された情報をキャンセルするときにクリックされる領域である。

【 0 1 8 6 】

図28は、現像所に置かれた第2のクライアント・コンピュータ20から注文書を出力する処理手順を示すフローチャートである。図29から図35は、第2のクライアント・コンピュータ20の表示装置に表示されるウインドウの一例である。

【 0 1 8 7 】

上述のようにしてフィルム複製の注文があると、注文したユーザのマスタ会社である現像所の第2のクライアント・コンピュータ20に受注があったことを示すデータがセンタ処理サーバ1から送信される（ステップ111）。もちろん、第2のクライアント・コンピュータ20とセンタ処理サーバ1とは接続されていることはいうまでもない。

【 0 1 8 8 】

第2のクライアント・コンピュータ20において、センタ処理サーバ1から送信された受注データが受信される。すると、第2のクライアント・コンピュータ20の表示装置の表示画面には、注文があったことを示すウインドウが表示される（ステップ100）。現像所の所員は、ユーザ名およびパスワードを入力しログインする（ステップ101）。

【 0 1 8 9 】

センタ処理サーバ1において認証されると（ステップ112でYES）、第2のクライアント・コンピュータ20に認証OKを示すデータが送信される。

【 0 1 9 0 】

第 2 のクライアント・コンピュータ 20 が認証されると、第 2 のクライアント・コンピュータ 20 の表示装置には図 29 に示すような受注確認ウインドウ W11 が表示される。この受注確認ウインドウ W11 には、新規注文を取得するときにクリックされる領域 A61、処理済注文を確認するときにクリックされる領域 A62 およびログオフ領域 A63 が含まれている。受注確認ウインドウ W11 によって新規注文の取得か処理済注文の取得かが選択される（ステップ 102）。

【 0 1 9 1 】

新規注文の取得が選択されると、その旨を示すデータが第 2 のクライアント・コンピュータ 20 からセンタ処理サーバ 1 に送信される（ステップ 103）。

【 0 1 9 2 】

センタ処理サーバ 1 において、第 2 のクライアント・コンピュータ 20 から送信された新規注文の取得を示すデータが受信されると、その現像所のスレーブ会社の新規注文が注文テーブルから検索される（ステップ 113）。注文テーブルの中の項目（注文書発行済）が「未」となっているものが新規注文と見なされる。検索によって見つかった新規注文データがセンタ処理サーバ 1 から第 2 のクライアント・コンピュータ 20 に送信される（ステップ 114）。

【 0 1 9 3 】

第 2 のクライアント・コンピュータ 20 において新規注文データが受信されると、図 30 に示すような新規注文ウインドウ W12 が第 2 のクライアント・コンピュータ 20 の表示装置 24 に表示される（ステップ 104）。新規注文ウインドウ W12 には、注文者の会社名（亀山ツーリスト株式会社、白金旅行株式会社およびジャパン・トラベル株式会社）、受注件数、納期の別が表示されるほか、詳細一覧領域 A64 および緊急納期一覧領域 A65 が表示されている。領域 A64 または領域 A65 がクリックされることにより、詳細一覧または緊急納期一覧が表示される。

【 0 1 9 4 】

詳細一覧領域 A64 がクリックされると第 2 のクライアント・コンピュータ 20 からセンタ処理サーバ 1 に詳細一覧送信指令データが送信される（ステップ 106）。

【 0 1 9 5 】

センタ処理サーバ1において、詳細一覧送信指令データが受信されると、注文テーブルおよび商品テーブルが検索され詳細一覧を表示するのに必要なデータが検索される（ステップ115）。検索によりみつかった詳細一覧データがセンタ処理サーバ1から第2のクライアント・コンピュータ20に送信される（ステップ116）。注文書（たとえば、亀山ツーリスト株式会社）と商品番号等とが互いに関連づけられてセンタ処理サーバ1から第2のクライアント・コンピュータ20に送信されたこととなる。

【 0 1 9 6 】

第2のクライアント・コンピュータ20において、センタ処理サーバ1から送信された詳細一覧データが受信されると第2のクライアント・コンピュータ20の表示装置24に図31に示す詳細一覧ウインドウW13が表示される（ステップ107）。

【 0 1 9 7 】

詳細一覧ウインドウW13に、注文があった画像ならびに商品番号、商品名、商品説明、サービス内容、単価および枚数が緊急注文と通常注文とに分けて表示される。緊急注文の内容と通常注文の内容とが一見して分かるように、緊急注文についての内容を表示している部分が暗くされている（図31においてはハッチングで表示されている）。また、詳細一覧ウインドウW13には、注文書出力領域A67も含まれている。注文書出力領域A67がクリックされることにより注文書プリンタ25により注文書が出力されることとなる（ステップ110）。

【 0 1 9 8 】

ウインドウW12において緊急納期一覧領域A65がクリックされると、緊急納期送信指令データが第2のクライアント・コンピュータ20からセンタ処理サーバ1に送信される（ステップ108）。

【 0 1 9 9 】

センタ処理サーバ1において、第2のクライアント・コンピュータ20から送信された緊急納期送信指令データが受信される。すると、注文テーブルを参照して緊急納期データが検索される（ステップ117）。検索により見つかった緊急納期データがセンタ処理サーバ1から第2のクライアント・コンピュータ20に送信さ

れる（ステップ118）。

【 0 2 0 0 】

第2のクライアント・コンピュータ20において、センタ処理サーバ1から送信された緊急納期データが受信されると、第2のクライアント・コンピュータ20の表示装置24の表示画面に図32に示すような緊急納期一覧ウインドウW14が表示される（ステップ109）。

【 0 2 0 1 】

緊急納期一覧ウインドウW14には、新規注文のうち緊急納期が指定されている注文についての商品情報が表示される。緊急納期一覧ウインドウW14には、注文のあった画像のサムネイル画像を表示する領域A68および注文書出力領域A67も含まれている。

【 0 2 0 2 】

注文書出力領域A67がクリックされると、注文書プリンタ25から注文書が出力される。注文書が出力されると、注文書出力済を示すデータが第2のクライアント・コンピュータ20からセンタ処理サーバ1に送信される（ステップ110）。

【 0 2 0 3 】

センタ処理サーバ1において、第2のクライアント・コンピュータ20から送信された出力済データが受信されると（ステップ119）、注文テーブルの注文書発行済みの項目が「済」となる（ステップ120）。

【 0 2 0 4 】

図29に示す受注確認ウインドウW11において処理済注文の確認領域A62がクリックされると、第2のクライアント・コンピュータ20の表示装置24の表示画面には図33に示す処理済注文確認ウインドウW15が表示される。

【 0 2 0 5 】

処理済注文確認ウインドウW15には、一度注文書を出力した注文（処理済注文という）の内容を表示するために検索条件を入力する領域A68が含まれている。検索条件には、月度注文一覧、受注日、納期、会社名、依頼者、届け先、サービス、緊急納期サービス、商品番号、商品名および商品説明が含まれている。さらに、処理済注文確認ウインドウW15には、検索領域A69および戻る領域A70が含

まれている。

【 0 2 0 6 】

検索領域 A69 がクリックされると第 2 のクライアント・コンピュータ 1 の表示装置 24 の表示画面には図 34 に示す検索ウインドウ W16 が表示される。戻る領域 A70 がクリックされると、一つ前に表示されたウインドウ W11 が表示される。

【 0 2 0 7 】

図 34 を参照して検索ウインドウ W16 には、注文があった画像が領域 A71 に表示されるほか、注文書の出力日時および商品情報が表示される。さらに、検索ウインドウ W16 には、検索条件確認領域 A72 および注文書再出力領域 A73 が含まれている。検索条件確認領域 A72 がクリックされると表示装置 24 には図 37 に示す検索条件確認ウインドウ W17 が表示される。注文書再出力領域 A73 がクリックされると、注文書プリンタ 25 によって注文書が再度出力される。

【 0 2 0 8 】

図 37 を参照して、検索条件確認ウインドウ W17 には、処理済注文の検索に用いられた検索条件を表示する領域 W17 が含まれている。ユーザは、領域 A24 の表示を見ることにより検索条件を確認することができる。

【 0 2 0 9 】

検索条件確認ウインドウ W17 には、さらに、クリックされることにより図 33 に示す検索ウインドウ領域にもどる検索ウインドウ領域 A75 および OK 領域 A76 が含まれている。

【 0 2 1 0 】

図 36 は、注文書プリンタ 25 から出力される注文書 31 の一例を示している。

【 0 2 1 1 】

注文書には、次の各領域が含まれている。

【 0 2 1 2 】

印刷日時表示領域 A80 :

注文書 31 を印刷した日時を表示する領域である。曜日も含まれている。

【 0 2 1 3 】

発注日表示領域 A81 :

発注日時を表示する領域である。この領域にも発注した曜日も含まれている。

【 0 2 1 4 】

依頼者表示領域 A82 :

依頼者（依頼者）についての情報が表示される領域である。依頼者の会社名、所属、氏名、住所、電話番号、ファクシミリ番号および E M A I L アドレスが表示される。

【 0 2 1 5 】

納品日表示領域 A83 :

納品日時が表示される。また、緊急納期か通常納期かも表示される。

【 0 2 1 6 】

お届け先表示領域 A84 :

お届け先が指定されているときにその届け先の会社名、所属、氏名、住所、電話番号、ファクシミリ番号および E M A I L アドレスが表示される。

【 0 2 1 7 】

サービス表示領域 A85 :

サービス内容が表示される。たとえば、基本料金、単価、数量などである。また、支払い区分も表示される。

【 0 2 1 8 】

商品内容表示領域 A86 :

注文した画像ならびに商品番号、商品名および商品説明の商品情報が表示される。

【 0 2 1 9 】

現像所においては、上述したようにこのようにして出力された注文書31にしたがって、フィルム・ライブラリ32からフィルムがを見つけ出される。を見つけ出されたフィルムが現像機33により複製され、注文者またはお届け先に配送される。

【 0 2 2 0 】

図37および図38は、注文の決済の処理手順を示すフローチャートである。図37は、センタ処理サーバの処理手順を示し、図38は、販売代理店に置かれている第3のクライアント・コンピュータ11の処理手順を示している。また、図39から図

41は、販売代理店に置かれている第1のクライアント・コンピュータ11の表示装置に表示されるウィンドウの一例を示している。図42から図44は、現像所に置かれている第2のクライアント・コンピュータ20の表示装置に表示されるウィンドウの一例を、図45は、旅行代理店に置かれている第1のクライアント・コンピュータ40の表示装置に表示されるウィンドウの一例を示している。

【 0 2 2 1 】

センタ処理サーバ1において、システムサービス設定テーブルを参照して、販売代理店の利用料金が算出される（ステップ121）。販売代理店の利用料金にはその販売代理店に属する現像所および旅行代理店の利用料金も含まれている。算出された利用料金を示すデータがセンタ処理サーバ1から販売代理店に置かれている第3のクライアント・コンピュータ11に利用料金を示すデータが送信される（ステップ122）。

【 0 2 2 2 】

第3のクライアント・コンピュータ11において、利用料金を示すデータが受信される。すると、第3のクライアント・コンピュータ11の表示装置の表示画面上に図39に示すような利用料金ウィンドウW18が表示される。

【 0 2 2 3 】

利用料金ウィンドウW18には、販売代理店のセンタ処理サーバ1に対する利用基本料金を表示する領域A91、現在のセンタ処理サーバ1の利用K B y t e数およびK B y t e単価を示す領域A92、サーバの利用料金を表示する領域A93、販売代理店に属するスレーブ会社の数および保守料金の単価を表示する領域A94、ユーザの保守料金の合計金額を表示する領域A96および合成請求金額を表示する領域A97が含まれている。さらに、利用料金ウィンドウW18には、ユーザ詳細確認領域A95、印刷領域A98および確認領域A99が含まれている。

【 0 2 2 4 】

確認領域A99がクリックされると、図40に示す確認ウィンドウW19が第3のクライアント・コンピュータ11の表示装置に表示され、ユーザ詳細確認領域A95がクリックされるとユーザ詳細確認ウィンドウW20が第3のクライアント・コンピュータ11の表示装置に表示される。

【 0 2 2 5 】

確認ウインドウW19は、販売代理店に属するスレーブ会社ごとの利用料金を表示するものである。図40を参照して、確認ウインドウW19には、次の各領域が含まれている。

【 0 2 2 6 】

サーバ利用基本料金表示領域 A100 :

センタ処理サーバを利用するためのスレーブ会社の基本料金を表示する領域である。

【 0 2 2 7 】

サーバ使用料金表示領域 A101 :

スレーブ会社のサーバ利用 K B y t e 数、K B y t e 単価および利用料金が表示される領域である。

【 0 2 2 8 】

ユーザ使用金表示領域 A102 :

現像所に属するユーザ数、ユーザの保守料金の単価および保守料金の合計が表示される。

【 0 2 2 9 】

合計請求金額表示領域 A103 :

ユーザに請求する金額を表示する領域である。

【 0 2 3 0 】

ログオフ領域 A104 :

ログオフするときにクリックされる領域である。

【 0 2 3 1 】

OK 領域 A105 :

確認した結果OKであったときにクリックされる領域である。

【 0 2 3 2 】

印刷領域 A106 :

ウインドウW19の内容を印刷するときにクリックされる領域である。

【 0 2 3 3 】

ウインドウW19に、販売代理店に属する会社ごとに上述した内容を表示することができる。

【 0 2 3 4 】

図41を参照してユーザ詳細確認ウインドウW20には、管理ユーザ表示領域A107、一次ユーザ表示領域A108および二次ユーザ表示領域A109ならびにOK領域A110が含まれている。一次ユーザは、販売代理店に属する現像所（たとえば、B株式会社）をいい、二次ユーザは、一次ユーザに属する会社をいう。

【 0 2 3 5 】

ウインドウW19のOK領域A105がクリックされると（ステップ132でYES）、その旨を示す確認メッセージ・データが第1のクライアント・コンピュータ11からセンタ処理サーバ1に送信される（ステップ133）。

【 0 2 3 6 】

センタ処理サーバ1において第3のクライアント・コンピュータ11からの確認メッセージ・データが受信されると（ステップ123）、そのメッセージ・データによって確認された現像所に置かれた第2のクライアント・コンピュータ20に利用料金を示すデータが送信される（ステップ124）。

【 0 2 3 7 】

現像所に置かれた第2のクライアント・コンピュータ20において利用料金を示すデータが受信されると、第2のクライアント・コンピュータ20の表示装置に図42に示す利用料金ウインドウW21が表示される。

【 0 2 3 8 】

利用料金ウインドウW21は、図39に示す利用料金ウインドウW19と同様に各領域A91からA97が含まれている。各領域A91からA97には、現像所に属するスレーブ会社の利用料金が表示されることとなる。また、利用料金ウインドウW21には、OK領域A111も含まれている。

【 0 2 3 9 】

OK領域A111がクリックされると、第2のクライアント・コンピュータ20の表示装置24の表示画面には図43に示すウインドウW22が表示される。このウインドウW22において図40に示すウインドウW40の各領域と同じ領域については同じ

符号を付して説明を省略する。ウインドウW22には次の各領域が含まれている。

【 0 2 4 0 】

素材作成料合計表示領域 A114 :

素材作成料（すなわち、フィルムの複製料金）の合計金額を表示する領域である。

【 0 2 4 1 】

注文内容表示領域 A115 :

注文の内容を料金とともに表示する領域である。

【 0 2 4 2 】

明細書ダウンロード領域 A116 :

注文内容の明細書をセンタ処理サーバ 1 からダウンロードするときにクリックされる領域である。

【 0 2 4 3 】

ウインドウW22においてOK領域 A135がクリックされることにより、確認メッセージ・データが第2のクライアント・コンピュータ20からセンタ処理サーバ1に送信される。

【 0 2 4 4 】

第2のクライアント・コンピュータ20から送信された確認メッセージ・データがセンタ処理サーバ1において受信されると（ステップ125）、旅行代理店の利用料金データを旅行代理店に置かれている第1のクライアント・コンピュータ40に送信される（ステップ126）。

【 0 2 4 5 】

すると、第1のクライアント・コンピュータ40の表示装置には、図45に示すような利用料金ウインドウW24が表示される。このウインドウW24の各領域も図43に示すウインドウW22に示す領域と同じ領域については同じ符号を付して説明を省略する。

【 0 2 4 6 】

マスタ会社からの確認メッセージが受信されないと、そのマスタ会社に属するスレーブ会社には利用料金データが送信されない。したがって、利用料金に誤っ

た場合にスレーブ会社には利用料金データが送信されずに済むこととなる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

フィルム・オーダ・システムの構成を示している。

【図 2】

センタ処理サーバの電氣的構成を示すブロック図である。

【図 3】

クライアント・コンピュータの電氣的構成を示すブロック図である。

【図 4】

管理情報データベースの構成を示している。

【図 5】

ユーザ名テーブルを示している。

【図 6】

会社－ユーザ関連情報テーブルを示している。

【図 7】

会社名テーブルを示している。

【図 8】

会社マスタースレーブ情報テーブルを示している。

【図 9】

システム・サービス設定テーブルを示している。

【図 1 0】

印刷サービス設定テーブルを示している。

【図 1 1】

注文テーブルを示している。

【図 1 2】

商品テーブルを示している。

【図 1 3】

お届け先指定テーブルを示している。

【図 1 4】

サービス設定の処理手順を示すフローチャートである。

【図 1 5】

ウインドウの一例である。

【図 1 6】

ウインドウの一例である。

【図 1 7】

ウインドウの一例である。

【図 1 8】

ウインドウの一例である。

【図 1 9】

ウインドウの一例である。

【図 2 0】

ウインドウの一例である。

【図 2 1】

ウインドウの一例である。

【図 2 2】

フィルム・オーダの処理手順を示すフローチャートである。

【図 2 3】

ウインドウの一例である。

【図 2 4】

ウインドウの一例である。

【図 2 5】

ウインドウの一例である。

【図 2 6】

ウインドウの一例である。

【図 2 7】

ウインドウの一例である。

【図 2 8】

注文書出力の処理手順を示すフローチャートである。

【図 2 9】

ウインドウの一例である。

【図 3 0】

ウインドウの一例である。

【図 3 1】

ウインドウの一例である。

【図 3 2】

ウインドウの一例である。

【図 3 3】

ウインドウの一例である。

【図 3 4】

ウインドウの一例である。

【図 3 5】

ウインドウの一例である。

【図 3 6】

注文書の一例である。

【図 3 7】

決済の処理手順を示すフローチャートである。

【図 3 8】

決済の処理手順を示すフローチャートである。

【図 3 9】

ウインドウの一例である。

【図 4 0】

ウインドウの一例である。

【図 4 1】

ウインドウの一例である。

【図 4 2】

ウインドウの一例である。

【図 4 3】

ウインドウの一例である。

【図 4 4】

ウインドウの一例である。

【図 4 5】

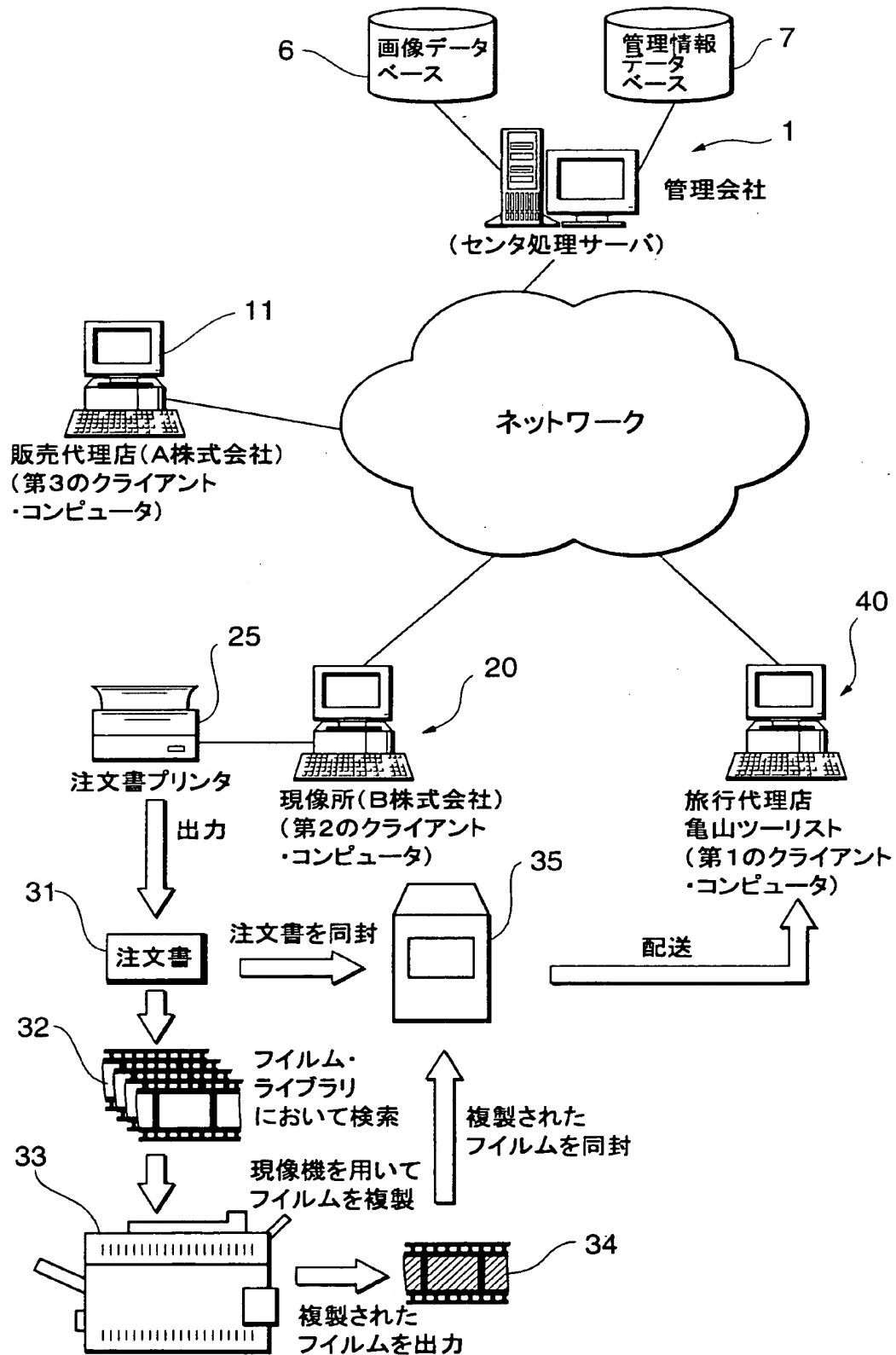
ウインドウの一例である。

【符号の説明】

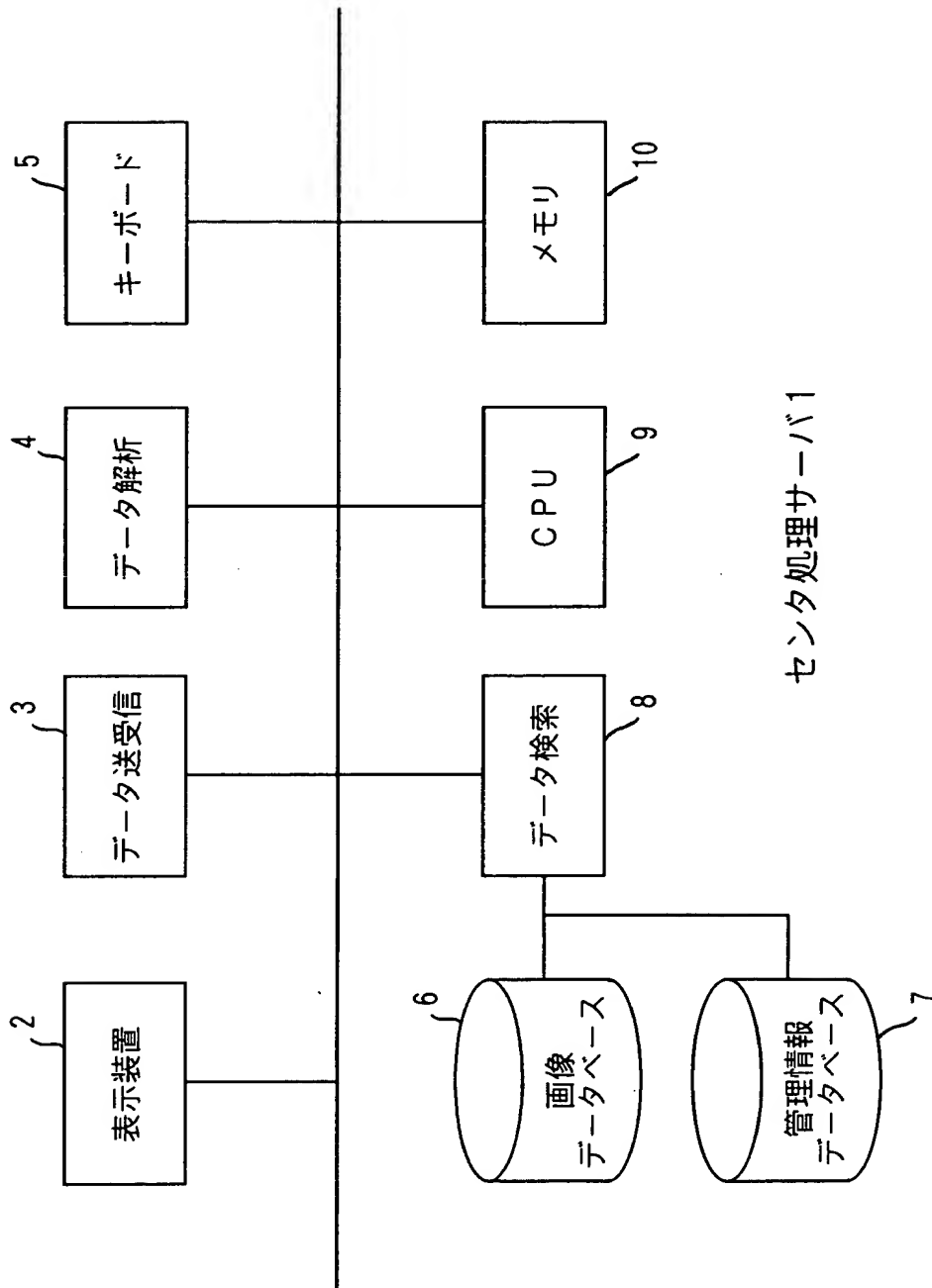
- 1 センタ処理サーバ
- 3, 23 データ送受信回路
- 4, 28 データ解析回路
- 6 画像データベース
- 7 管理情報データベース
- 8 データ検索回路
- 9, 29 CPU
- 10, 30 メモリ
- 11, 20, 30 クライアント・コンピュータ
- 24 表示装置
- 25 注文書プリンタ
- 26 プリンタ制御回路
- 31 注文書

【書類名】 図面

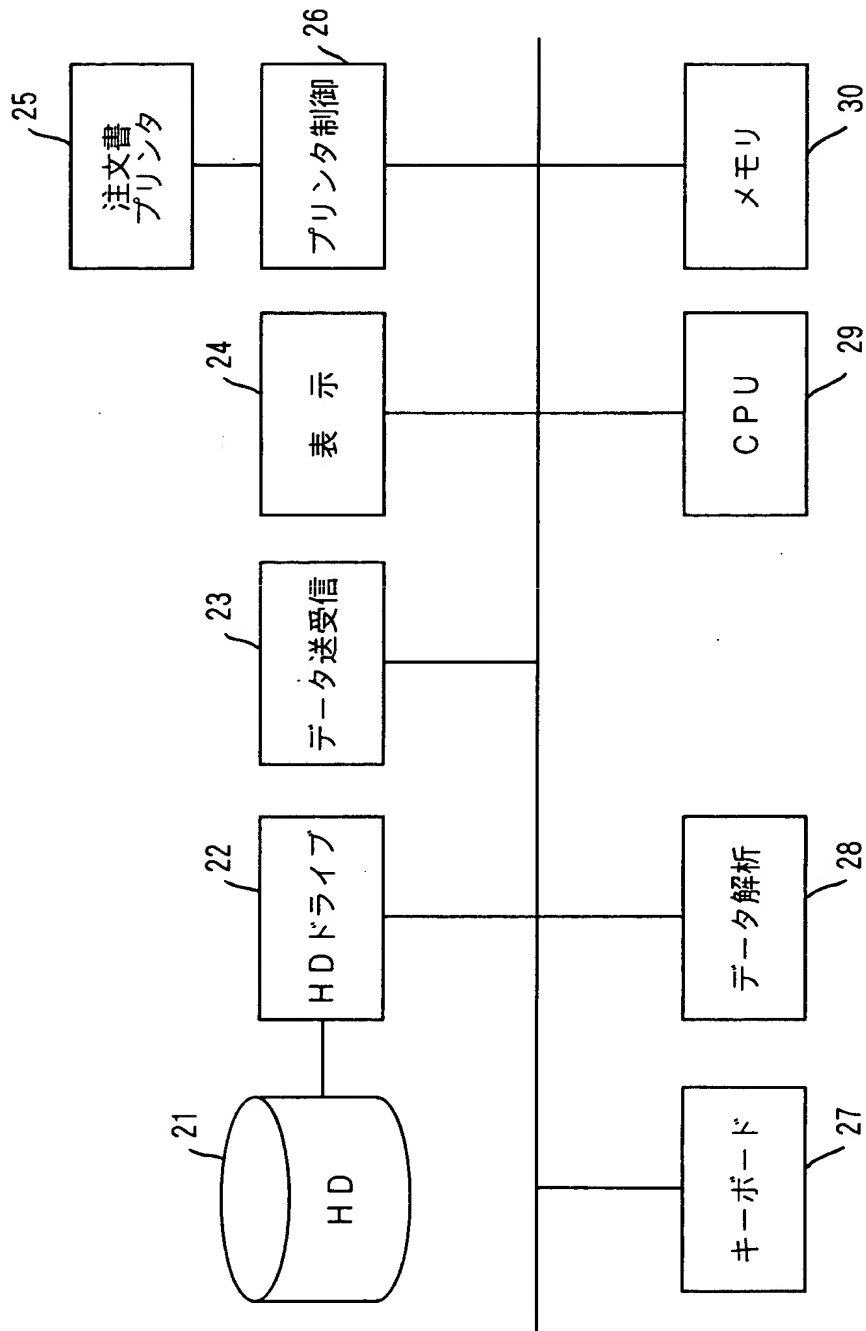
【図 1】



【図 2】

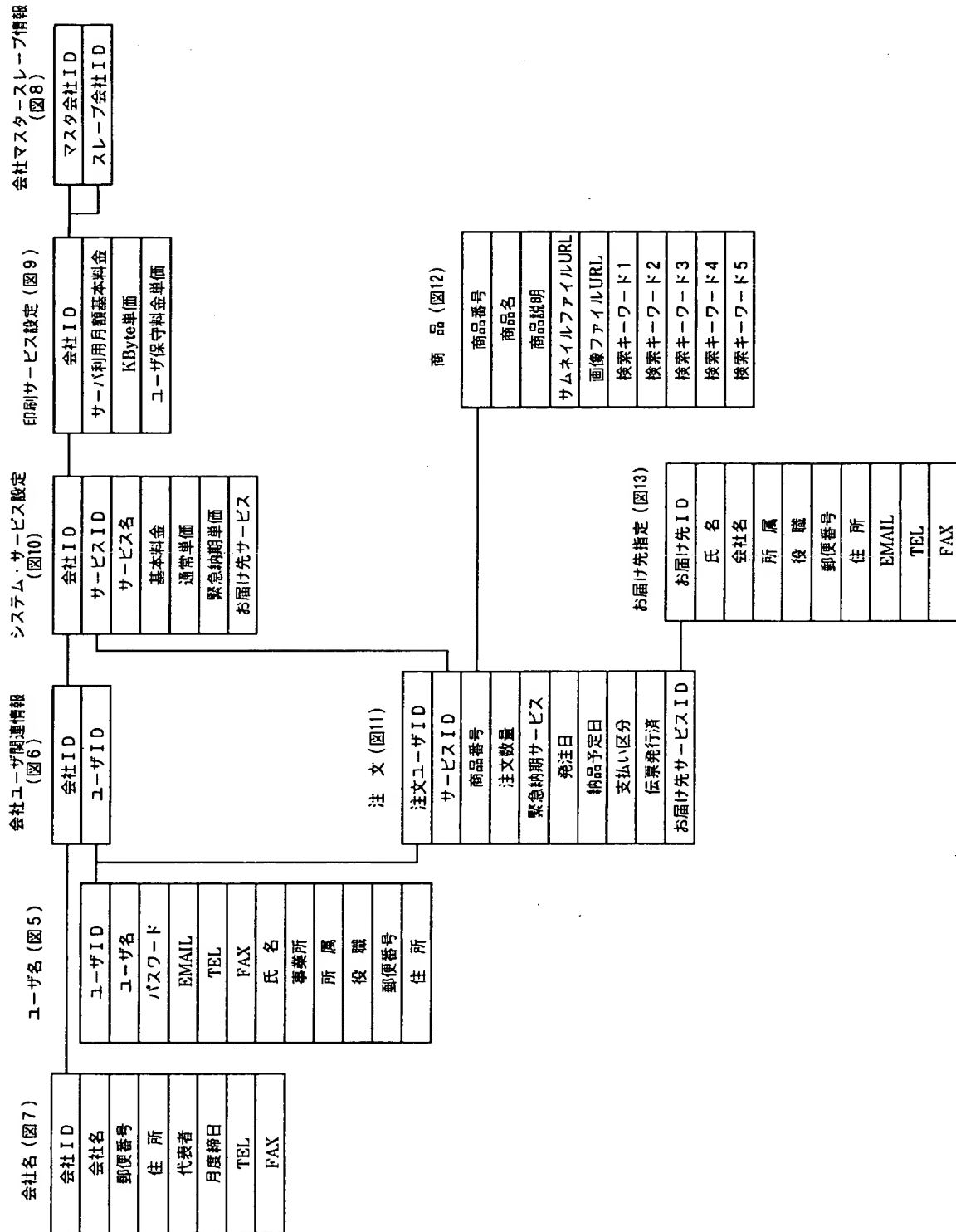


【図 3】



クライアント・コンピュータ20

【図 4】



【図5】

ユーザ名テーブル

ユーザID	ユーザ名	パスワード	EMAIL	TEL	FAX
1	瀧場 英介	ei&han&345	eisuke@ A-company.com	03-5678-0987	03-5678-0988
2	飯田 義春	yoshi&i&123	iida@ A-Company.com	03-5678-0967	03-5678-0988
3	魚住 魚吉	fish@live%23	uosumi@ B-Company.com	023-456-7890	023-456-7891
4	鯨井 塩吉	whale&solt34	kujirai@ B-Company.com	023-456-7890	023-456-7891
5	亀山 亀吉	kame&nii213	kameyama@ kameyama.com	012-3456-7890	012-3456-7891
6	佐藤 栄吉	eikiti&kame23	eikiti@ kameyama.com	012-3456-7889	012-3456-7891

氏 名	事務所	所 属	役 職	郵便番号	住 所
瀧場 英介	東京本社	営業技術部	係長	123-4567	東京都港区西麻布
飯田 義春	東京本社	営業技術部	—	123-4567	東京都港区西麻布
魚住 魚吉	幸栄事務所	生産技術部	課長	987-6543	新潟県新潟市幸栄
鯨井 塩吉	幸栄事務所	生産技術部	課長	987-6543	新潟県新潟市幸栄
亀山 亀吉	新潟支店	第一営業部	—	905-1234	新潟県新潟市南笹口
佐藤 栄吉	新潟支店	第一営業部	—	905-1234	新潟県新潟市南笹口

【図 6】

会社－ユーザ関連情報テーブル

会社 I D	ユーザ I D
1	1
1	2
3	3
3	4
6	7
6	8

会社名テーブル

会社ID	会社名	郵便番号	住 所	代表者	月度締日	TEL	FAX
1	A 株式会社	123-4567	東京都港区西麻布	藤 栄太郎	20	03-5678-1234	03-5678-1239
2	Q 株式会社	123-7890	東京都港区赤坂	唐 富士夫	20	03-3456-9089	03-3456-0989
3	B 株式会社	234-5678	神奈川県横浜市上尾町	樋上 太郎	20	045-678-9012	045-678-9123
4	X 株式会社	678-9012	京都府京都市中京区二条	京 太郎	20	078-901-2345	078-901-3456
5	Z 株式会社	690-1234	島根県松江市袖師町	松江 新太郎	20	0890-12-3456	0890-12-3458
6	亀山ツースト 株式会社	987-6543	新潟県新潟市幸栄	佐藤 美輔	20	023-456-7890	023-456-7891
7	白金旅行株式会社	567-8901	大阪市淀川区西中島	淀 四郎	20	06-789-0123	06-789-1234
8	ジャパントラベル 株式会社	345-6789	長野県諏訪市赤沼	諏訪 大輔	20	0234-67-8901	0234-67-9012

【図 8】

会社マスタースレーブ情報テーブル

マスタ会社 I D	スレーブ会社 I D
0	1
0	2
1	3
1	4
1	5
3	6
3	7
3	8

【図 9】

システム・サービス設定テーブル

会社ID	利用最大KByte	サーバ利用月額基本料金	Kbyte 単価	ユーザ保守料金単価
0	1,000,000	50,000	1	5,000
1	500,000	25,000	1.5	7,500
2	500,000	25,000	1.5	7,500
3	600,000	30,000	2	5,000
4	600,000	30,000	2	5,000
5	600,000	30,000	2	5,000
6	100,000	0	0	0
7	100,000	0	0	0
8	100,000	0	0	0

【図 10】

印刷サービス設定

会社ID	サービスID	サービス名	基本料金	通常単価	緊急納期単価	お届け先サービス
6	1	Lプリント	200	100	200	あり
6	2	DSCプリント	200	100	200	あり
6	3	ネガ複製	300	300	450	あり
6	4	スライド	300	400	600	あり
4	5	Lサイズプリント	150	80	160	あり
4	6	サービスサイズプリント	150	50	100	あり
4	7	ネガデュープサービス	400	400	600	あり
4	8	スライドデュープサービス	400	400	600	あり

注文テーブル

注文ユーザID	サービスID	商品番号	注文数量	緊急納期 サービス
5	1	00108-4	3	有
5	4	00001-1	2	無
6	3	01234-5	3	有

	発注日	納品予定日	支払い区分	注文書発行済	お届け先ID
	2000/1/27:10:23:21	2000/1/29	月度一括	済	1
	2000/1/27:10:23:21	2000/2/1	月度一括	済	0 (なし)
	2000/1/29:15:41:45	2000/2/1	宅配着払	未	2

【図 1 2】

商品テーブル

商品番号	商品名	商品説明	サムネイルファイル URL	画像ファイル URL
00000-0	阿蘇山	阿蘇火口 グロス撮影	http://xxx.com/S00.jpg	http://xxx.com/00.jpg
00001-0	利尻山	利尻山眺望 ケン撮影	http://xxx.com/S01.jpg	http://xxx.com/01.jpg
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

検索キーワード1	検索キーワード2	検索キーワード3	検索キーワード4	検索キーワード5
火山	熊本	日の国	やまなみハイウェイ	大草原
雪山	北海道	利尻富士	利尻昆布	北の島
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

【図13】

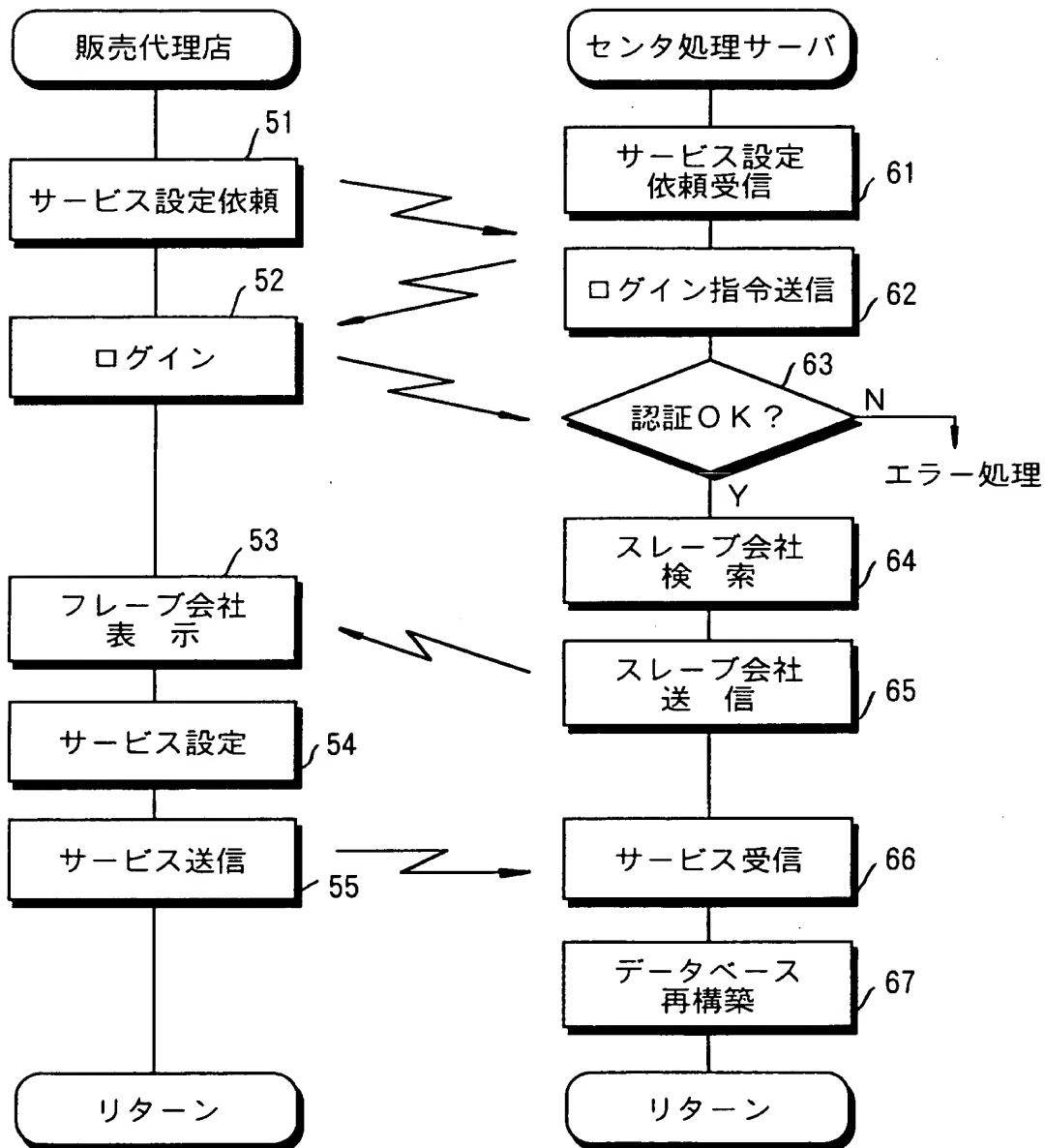
お届け先IDテーブル

お届け先ID	氏名	会社名	所属	役職	郵便番号
1	亀海 海夫	亀海印刷株式会社	デザイン室	係長	012-3456
2	鶴島 鷺	鶴島デザイン株式会社	グラフィック課		345-6788

	住所	EMAIL	TEL	FAX
	宮城県仙台市泉区中央	hameumi@kameumi.com	023-456-7890	023-456-7891
	広島県広島市南区	turusima@turusima.com	089-123-4567	089-123-4569

【図 14】

サービス設定



【図 1 5】

センター管理・ログイン

ユーザ名 A1

パスワード A2

A3 A4

W1

【図 1 6】

現在登録されているスレーブ会社

A5 A6

A7 A8

W2

【図 1 7】

W3

会社名		B株式会社	
郵便番号	234 - 5678	A10	
住所	神奈川県横浜市上尾町		
代表者	樋上 太郎		
月度締日	20 日		
TEL	045 - 678 - 9012	FAX	045 - 678 - 9123
利用可能最大KByte数		3,000,000	KByte
サーバ利用基本料金	25,0000	円	A11
KByte単価	1.5	円	
ユーザ保守料金単価	7,500	円	
ユーザ	追加	A12	A14
ユーザ名	瀧場 英介	パスワード	*****
ユーザ名	鯨井 塩吉	パスワード	*****
A13		OK	A17
		削除	A16
		削除	
		戻る	A18

【図 18】

センター管理・ログイン

ユーザ名 A1

パスワード A2

A3 A4

W1

【図 19】

現在登録されているスレーブ会社

A5 A6

A7 A8

W2

【図 2 0】

W4

会社名				亀山ツーリスト株式会社			
郵便番号				987	-	6543	
住所				新潟県新潟市幸栄			
代表者				佐藤 美輔			
月度締日				20	日		
TEL				023	-	456	-
FAX				023	-	456	-
7890				7891			
利用可能最大KByte数		1,000,000		KByte			
サーバ利用基本料金		30,0000		円			
KByte単価		2		円			
ユーザ保守料金単価		5,000		円			
設定サービス		追加		A10a			
サービス	基本料金	通常単価	緊急納期単価				
スライド	300 円	400 円	600 円	変更			
ネガ複製	300 円	300 円	450 円	変更			
Lプリント	200 円	100 円	200 円	変更			
DSCプリント	200 円	100 円	200 円	変更			
お届け先サービス指定		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		A21			
ユーザ		追加		A12			
ユーザ名	亀山 亀吉	パスワード	*****	変更		削除	
ユーザ名	海亀 海介	パスワード	*****	変更		削除	
				OK		戻る	

A17 A18

【図 2 1】

W5

サービスの追加

サービス名

基本料金 円

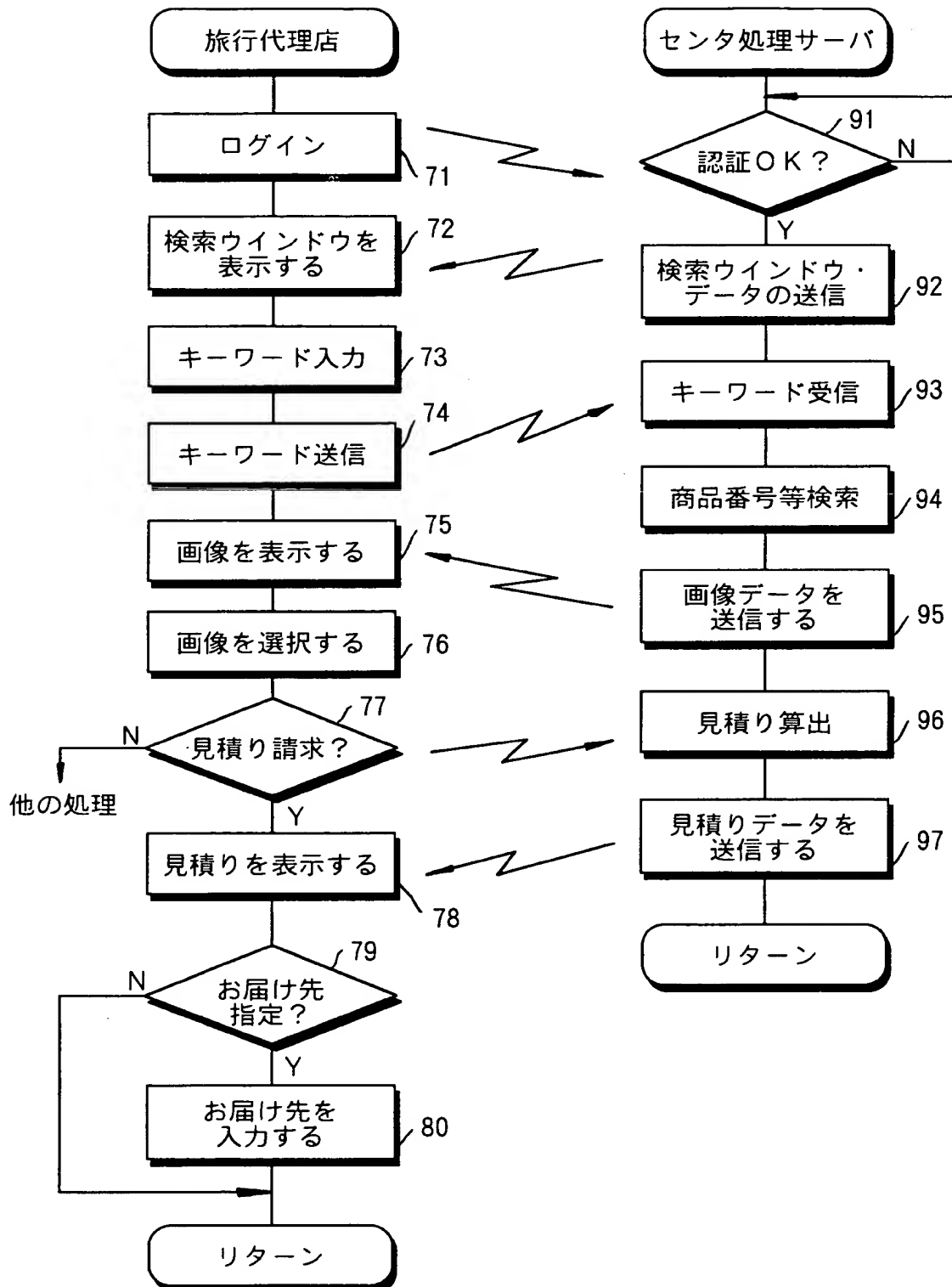
通常単価 円

緊急納期単価 円

A22
A23
A24
A25
A26
A27

【図 22】

フィルム・オーダ



【図 23】

フィルム・オーダ・ログイン

ユーザ名 A31

パスワード A32

A33 A34

W6

【図 24】

写真検索ウインドウ

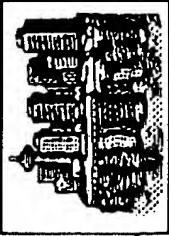
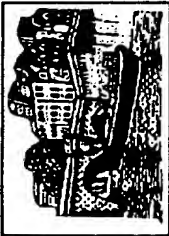
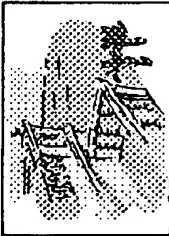
キーワード A35

A36 A37

W7

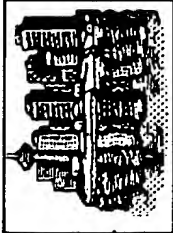

【図 25】

W8

<input checked="" type="checkbox"/> A41		商品番号	00001-1	サービス	A43	スライド	A46
	<input checked="" type="checkbox"/> A42	商品名	ハンブルグ	枚数	A44	2	A44
		商品説明	Yoshi 撮影	納期	A45	通常	A47
<input type="checkbox"/> A41		商品番号	00023-3	サービス	A43	Superia	A46
	<input type="checkbox"/> A42	商品名	スコットランド	枚数	A44		A44
		商品説明	kai 撮影	納期	A45		A47
<input checked="" type="checkbox"/> A41		商品番号	00108-4	サービス	A43	Lプリント	A46
	<input checked="" type="checkbox"/> A42	商品名	地中海	枚数	A44	3	A44
		商品説明	Gross 撮影	納期	A45	緊急	A47
<input type="checkbox"/> A48 見積り		<input type="checkbox"/> A49 戻る		<input type="checkbox"/> A50 データダウンロード			

【図 26】

W9

	商品番号 00001-1	サービス 00001-1	スライド 400 円	(基本料金：300 円) (通常納期料金)	<div>お届け先指定</div>
	商品名 ハンブルグ		単価 2 枚		
	商品説明 Yoshi 撮影		枚数 1,200 円		
			小計		
	商品番号 00108-4	サービス 00108-4	Lプリント 200 円	(基本料金：200 円) (緊急納期料金)	<div>お届け先指定</div>
	商品名 地中海		単価 3 枚		
	商品説明 Gross 撮影		枚数 800 円		
			小計		
お見積み合計金額 2,000 円					
<div>印刷</div>	<div>発注</div>	<div>戻る</div>			

A51

A51

A53

A54

A52

A52

【図 2 7】

W10

お届け先指定	
氏名	亀海 海夫
会社名	亀海印刷株式会社
所属	デザイン室
役職	係長
郵便番号	012 - 3456
住所	宮城県仙台市泉区中央
TEL	023 - 456 - 7890
FAX	023 - 456 - 7891
EMAIL	kameumi@kameumi.com
お支払い方法	20 日一括 ▾
<div>OK</div> <div>キャンセル</div>	

A59 A60

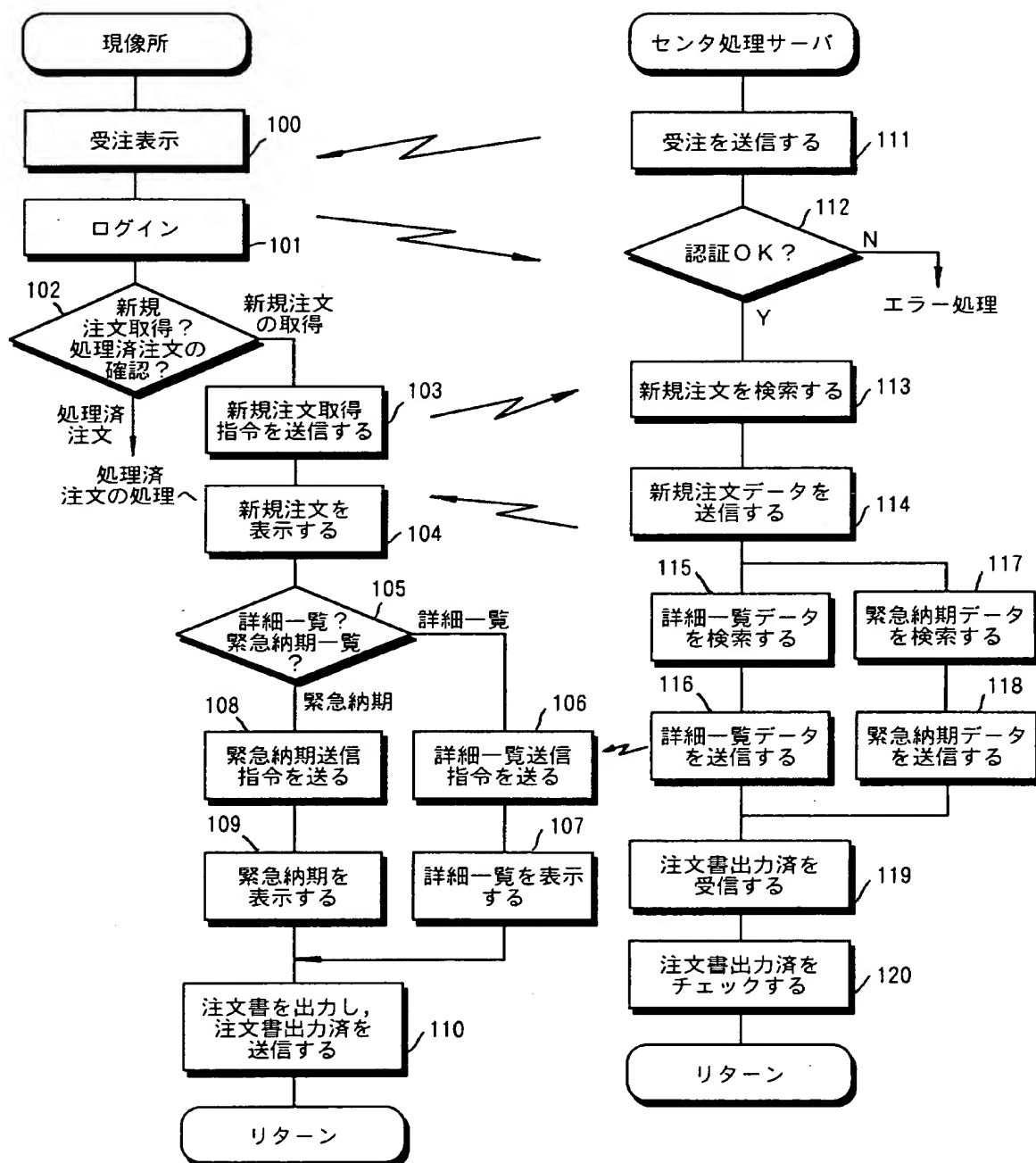
A56

A57

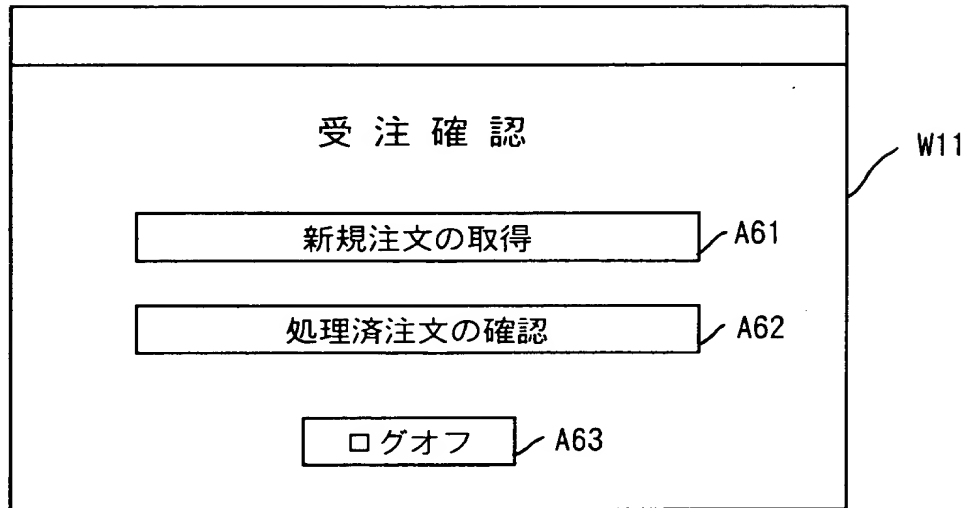
A58

【図 28】

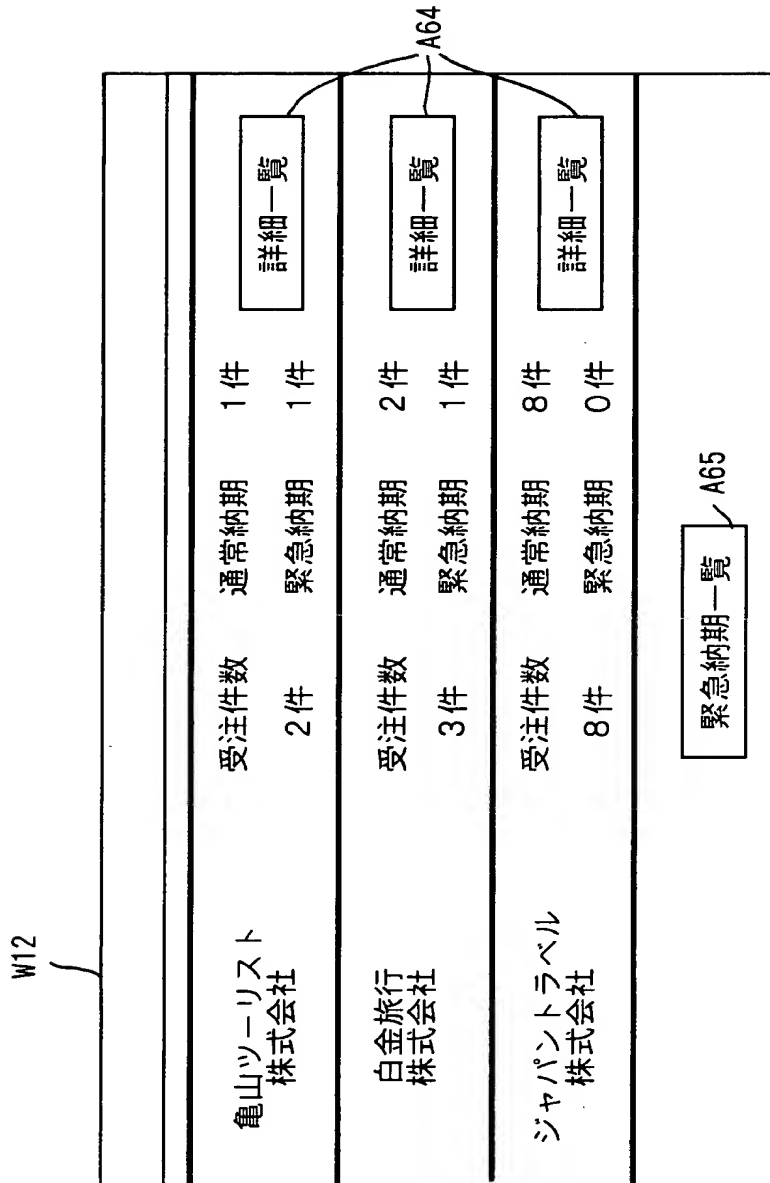
注文書出力



【図 2.9】

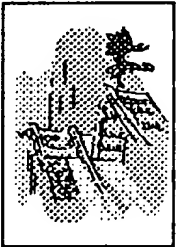
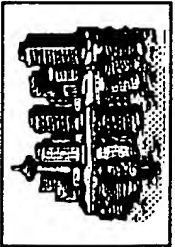


【図 3 0】




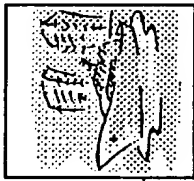
【図 3 1】

W13

亀山ツーリスト株式会社 注文一覧			
亀山ツーリスト株式会社 新潟支店 第一営業部 亀山 亀吉様			
緊急注文			
	商品番号 00108-4	サービス Lプリント	
	商品名 地中海	単価 200 円	
	商品説明 Gross 撮影	枚数 3 枚	
		小計 800 円	
通常注文			
	商品番号 00001-1	サービス スライド	
	商品名 ハンブルグ	単価 400 円	
	商品説明 Yoshi 撮影	枚数 2 枚	
		小計 1,200 円	
注文書出力 A67			

【図 3 2】

W14

緊急納期一覧				
亀山ツリーリスト株式会社 新潟支店 第一営業部 亀山 亀吉様				
	商品番号	00108-4	サービス	Lプリント
	商品名	地中海	単価	200 円
	商品説明	Gross 撮影	枚数	3 枚
			小計	800 円
白金旅行株式会社 商品開発部 白金 太郎様				
	商品番号	01123-1	サービス	Lプリント
	商品名	飛鳥	単価	200 円
	商品説明	飛鳥撮影	枚数	3 枚
			小計	800 円
注文書出力 A67				

A68

A68

【図 33】

W15

処理済み注文の確認

月額注文一覧年月度

受注日

2000/1/15

～

2000/1/16

納期

会社名

亀山ツーリスト株式会社

▽

依頼者

亀山 亀吉

届け先

サービス

スライド

▽

緊急納期サービス

☒

あり

☐

なし

商品番号

商品名

商品説明


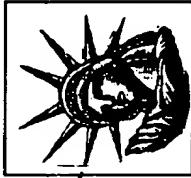
A69 検索

戻る A70

A68

【図 3 4】

W16

				A75 検索条件確認	
注文書出力日時		2000/1/15	土曜日	13時22分12秒	
	商品番号	02113-8	サービス	スライド	
	商品名	ライン川	単価	600 円	
	商品説明	Gross 撮影	枚数	3 枚	
			小計	2,100 円	
注文書出力日時		2000/1/15	土曜日	13時24分42秒	
	商品番号	00012-9	サービス	スライド	
	商品名	自由の女神	単価	600 円	
	商品説明	Michel 撮影	枚数	1 枚	
			小計	900 円	
				注文書再出力	

A73

A71

【図 3 5】

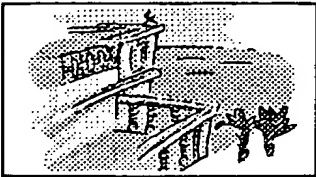
W17
/

検索条件	
受注日	2000/1/15 ~ 2000/1/16
会社名	亀山ツーリスト株式会社
依頼者	亀山亀吉
サービス	スライド
緊急納期サービス	あり
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">検索画面へ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">OK</div> </div>	

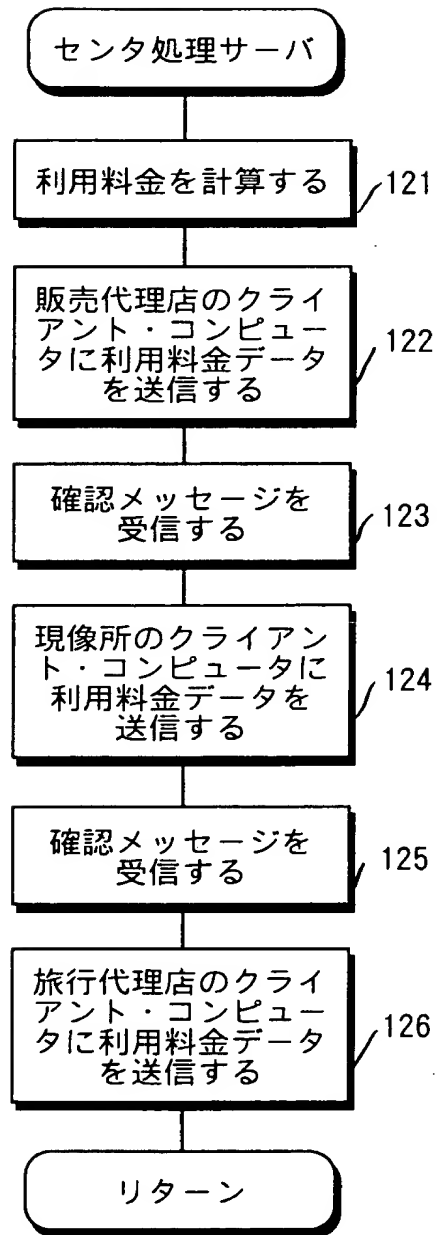
A74

A75 A76

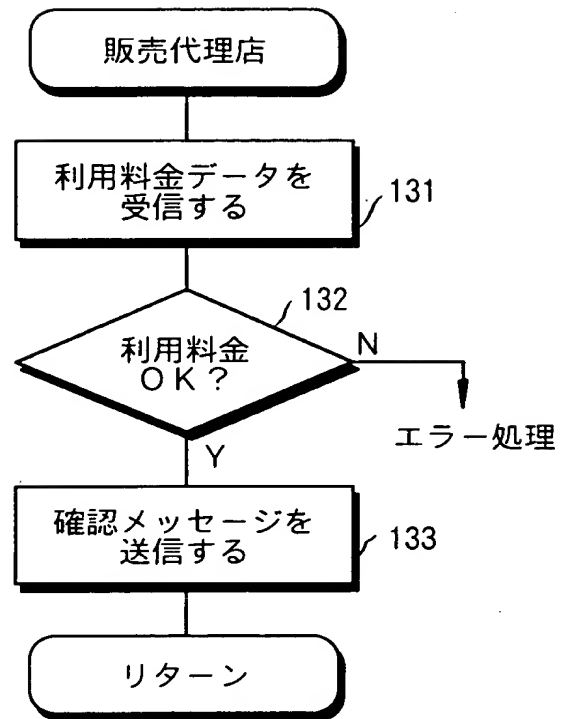
【図 3 6】

フィルム・オーダー注文書《緊急》				W31
注文書印刷日時 2000年1月27日 木曜日 13時21分31秒				A80
発注日 2000年1月27日 木曜日 10時23分21秒				A81
ご依頼者 亀山ツーリスト株式会社 新潟支店 第一営業部 亀山 亀吉様 〒950-1234 新潟県新潟市南笹口 TEL 012-3456-7890 FAX 012-3456-7891 EMAIL kameyama@kameyama.com				A82
納品日 2000年1月28日10時（緊急納期サービス）				A83
お届け先 亀海印刷株式会社 デザイン室 係長 亀海 亀夫様 〒012-3456 宮城県仙台市泉区中央 TEL 023-456-7890 FAX 023-456-7891 EMAIL kameumi@kameumi.com				A84
サービス Lプリント 基本料金 200 円 単価 200 円（緊急納期サービス） 数量 3 お支払区分 20日締め一括ご請求 小計 800 円				A85
		商品番号 00108-4 商品名 地中海 商品説明 Gross 撮影		A86
亀山ツーリスト株式会社 新潟支店 第一営業部 亀山亀吉様 ご注文 (1/2)				

【図 3 7】



【図 3 8】



【図 3 9】

W18

一月度利用料金		
サーバ利用月額基本料金	50,000 円	A91
現在のサーバ利用 KByte 数	201,312 KByte	A92
KByet 単価	1 円	
サーバ利用料合計	201,312 円	A93
総ユーザ数	30 ユーザ	A94
ユーザ保守料金単価	5,000 円	A95
<div>ユーザ詳細確認</div>		
ユーザ保守料金合計	125,000 円	A96
合計請求金額	376,312 円	A97
<div>印刷</div> <div>確認</div>		

A98 A99

【図 4 0】

W19

<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> B 社 X 社 Z 社 </div>	
現像所 B 社向け請求内容	
A100	システム利用月額基本料金 25,000 円
A101	サーバ利用 KByte 数 48,906 KByte
	KByte 単価 1.5 円
	サーバ利用料合計 73,359 円
A102	総ユーザ数 6 ユーザ
	ユーザ保守料金単価 7,500 円
	ユーザ保守料金合計 45,000 円
A103	合計請求金額 143,359 円
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px 20px;">ログオフ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px 20px;">OK</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px 20px;">印刷</div> </div>	

A104
A105
A106

【図 4 1】

W20
/

A 社管理ユーザ 2 ユーザ ← A107		
一次ユーザ		
現像所 B 社	2 ユーザ	← A108
現像所 X 社	4 ユーザ	
現像所 Z 社	4 ユーザ	
二次ユーザ		
現像所 B 社	4 ユーザ	← A109
現像所 X 社	6 ユーザ	
現像所 Z 社	8 ユーザ	
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">O K</div>		← A110

【図 4 2】

W21

一月度利用料金	
サーバ利用月額基本料金	25,000 円
サーバ利用 KByte 数	48,906 KByte
KByte 単価	1.5 円
サーバ利用料合計	73,359 円
総ユーザ数	6 ユーザ
ユーザ保守料金単価	7,500 円
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">ユーザ詳細確認</div>	
ユーザ保守料金合計	45,000 円
合計請求金額	143,359 円
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px 20px;">OK</div>	

A111

【図 4 3】

W22

A112	<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 2px;"> 亀山 ▽ 白金 ▽ JT </div> <div style="text-align: center; padding: 5px;">亀山ツーリスト株式会社請求内容</div>		
A100	システム利用月額基本料金	30,000 円	
A114	素材作成料合計	45,000 円	
A115	通常納期Lプリント (80枚/20注文)	12,000 円	△
	緊急納期Lプリント (20枚/10注文)	6,000 円	
	通常納期スライド (30枚/20注文)	18,000 円	
	緊急納期スライド (10枚/10注文)	9,000 円	▽
A116	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 明細書 ダウンロード </div>		
A101	サーバ利用 KByte 数	8,023KByte	
	KByte 単価	2 円	
	サーバ利用料合計	16,046 円	
A102	総ユーザ数	2 ユーザ	
	ユーザ保守料金単価	5,000 円	
	ユーザ保守料合計	10,000 円	
A103	合計請求金額	83,046 円	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px 20px;">ログオフ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px 20px;">OK</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px 20px;">印刷</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> A104 A105 A106 </div>			

【図 4 4】

W23

B社オペレーションユーザ 2 ユーザ		A107
二次ユーザ		
亀山ツーリスト株式会社	2 ユーザ	A109
白金旅行株式会社	1 ユーザ	
ジャパントラベル株式会社	1 ユーザ	
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">OK</div>		A110

【図 4 5】

W24

亀山ツーリスト株式会社様 1 月度のご請求		
サーバ利用月額基本料金	30,000 円	A100
素材作成料合計	45,000 円	A114
通常納期 L プリント (80枚/20注文)	12,000 円	A115 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 2px;">△</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 2px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 2px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 2px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 2px;">▽</div> </div>
緊急納期 L プリント (20枚/10注文)	6,000 円	
通常納期 スライド (30枚/20注文)	18,000 円	
緊急納期 スライド (10枚/10注文)	9,000 円	
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;"> 明細書 ダウンロード </div>		A116
サーバ利用 KByte 数	8,023 KByte	A101
KByte 単価	2 円	
サーバ利用料合計	16,046 円	
総ユーザ数	2 ユーザ	A102
ユーザ保守料金単価	5,000 円	
ユーザ保守料合計	10,000 円	
合計請求金額	83,046 円	A103
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px 20px;">ログオフ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px 20px;">OK</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px 20px;">印刷</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">A104</div> <div style="text-align: center;">A105</div> <div style="text-align: center;">A106</div> </div>		

【書類名】 要約書

【要約】

【目的】 フィルムの複製を比較的簡単にする。

【構成】 旅行代理店に置かれているコンピュータ40からサーバ1に注文データが送信される。注文データは、サーバ1から現像所に置かれているコンピュータ20に送信される。現像所の注文書プリンタ25において注文書31が印刷される。この注文書31に記載の内容にしたがって、フィルム・ライブラリ32から注文に合う画像のフィルムが見つけられる。見つけられたフィルムが現像機33によって複製される。複製されたフィルム34および注文書が封筒35に同封されて旅行代理店に配送される。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社